

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)公開番号

特開2023-16721

(P2023-16721A)

(43)公開日 令和5年2月2日(2023.2.2)

(51)国際特許分類	F I	テーマコード(参考)
A 4 5 C 13/00 (2006.01)	A 4 5 C 13/00	D 3 B 0 4 5
A 4 5 C 3/00 (2006.01)	A 4 5 C 3/00	P
A 4 5 C 13/02 (2006.01)	A 4 5 C 13/02	D
A 4 5 C 13/36 (2006.01)	A 4 5 C 13/36	E
A 4 5 C 13/26 (2006.01)	A 4 5 C 13/26	Z

審査請求 有 請求項の数 20 O L (全34頁)

(21)出願番号 特願2022-112111(P2022-112111)
 (22)出願日 令和4年7月13日(2022.7.13)
 (31)優先権主張番号 17/381,998
 (32)優先日 令和3年7月21日(2021.7.21)
 (33)優先権主張国・地域又は機関
 米国(US)

(71)出願人 515284526
 イエティ クーラーズ エルエルシー
 Yeti Coolers, LLC
 アメリカ合衆国 78735 テキサス州
 オースティン サウスウェストパークウ
 ェイ 7601
 7601 Southwest Park
 way, Austin TX 78735
 , USA
 (74)代理人 110000855
 弁理士法人浅村特許事務所
 (72)発明者 ロイ ジョゼフ サイダース
 アメリカ合衆国 78735 テキサス州
 オースティン サウスウェストパークウ
 ェイ 7601、イエティ クーラーズ
 最終頁に続く

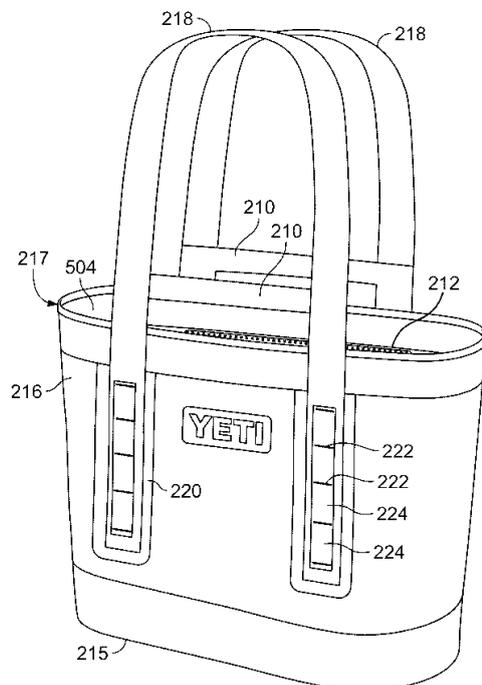
(54)【発明の名称】 トートバッグ

(57)【要約】

【課題】非剛性の携帯可能なトートバッグの提供。

【解決手段】バッグは、側壁、上部分、縁部、開口部、前部、後部、および下部分を画定するシェルを含み、開口部は、収納区画、バッグの底部を画定する半剛性基部へのアクセスを可能にするように構成され、シェルおよび半剛性基部は、収納区画を形成し、第1の内部仕切りパネルが側壁に取り付けられ、かつ第1の位置から第2の位置に移行するように構成され、第1の位置はしまい込み構成であり、第2の位置は拡張構成であり、第2の内部仕切りパネルは、第1の内部仕切りパネルの反対側の側壁に取り付けられ、かつ第1の位置から第2の位置に移行するように構成され、第1の内部仕切りパネルおよび第2の内部仕切りパネルは、第1の位置において側壁と同一平面にある。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

バッグであって、

側壁、上部分、縁部、開口部、前部、後部、

および下部分を画定するシェルであって、前記上部分が、前記バッグの上部周縁部を画定し、前記下部分が前記バッグの下部周縁部を画定し、前記開口部が、収納区画へのアクセスを可能にするように構成されている、シェルと、

複数の持ち運び用ストラップと、

前記バッグの底部を画定する半剛性基部であって、前記シェルおよび前記半剛性基部が、前記収納区画を形成し、前記半剛性基部が、前記バッグを直立に維持するように構成されている、半剛性基部と、

前記側壁に取り付けられ、かつ第 1 の位置から第 2 の位置に移行するように構成された第 1 の内部仕切りパネルであって、前記第 1 の位置が、しまい込み構成であり、前記第 2 の位置が、拡張構成である、第 1 の内部仕切りパネルと、

前記側壁の上部分に取り付けられた少なくとも 1 つの内側ポケットと、

前記縁部および前記側壁の前記上部分に取り付けられた前記内側ポケットの上部を取り囲むように構成された上部結合部と、を備える、バッグ。

【請求項 2】

前記側壁に取り付けられ、かつ前記第 1 の位置から前記第 2 の位置に移行するように構成された第 2 の内部仕切りパネルをさらに備える、請求項 1 に記載のバッグ。

【請求項 3】

前記第 1 の内部仕切りパネルが、前記第 2 の内部仕切りパネルの反対側に位置決めされている、請求項 2 に記載のバッグ。

【請求項 4】

前記第 1 の内部仕切りパネルおよび前記第 2 の内部仕切りパネルが、前記第 1 の位置において前記側壁と同一平面にある、請求項 3 に記載のバッグ。

【請求項 5】

前記側壁の上部分に取り付けられ、前記少なくとも 1 つの内側ポケットの反対側に位置決めされた第 2 の内側ポケットをさらに備える、請求項 1 に記載のバッグ。

【請求項 6】

前記バッグが、閉鎖デバイスをさらに備える、請求項 1 に記載のバッグ。

【請求項 7】

前記閉鎖デバイス的一部分が、前記上部結合部の下に位置決めされている、請求項 6 に記載のバッグ。

【請求項 8】

前記閉鎖デバイスが、留め具を備え、前記留め具が、前記留め具の反対側に位置決めされた材料のループと係合するように構成されている、請求項 7 に記載のバッグ。

【請求項 9】

第 1 の上部材料が、前記バッグの外部の上部外側周縁部を取り囲むように構成されており、前記第 1 の上部材料の上部部分が、前記上部結合部の下に位置決めされている、請求項 1 に記載のバッグ。

【請求項 10】

第 2 の上部材料が、前記バッグの内部の上部内側周縁部を取り囲むように構成されており、前記第 1 の上部材料の上部部分が、前記上部結合部の下に位置決めされている、請求項 9 に記載のバッグ。

【請求項 11】

前記少なくとも 1 つの内側ポケットの上部部分が、前記第 2 の上部材料の下に位置決めされている、請求項 10 に記載のバッグ。

【請求項 12】

前記第 1 および第 2 の上部材料が、縫合で前記側壁に固定されている、請求項 11 に記

10

20

30

40

50

載のバッグ。

【請求項 13】

前記上部結合部が、ナイロンを含む、請求項 1 に記載のバッグ。

【請求項 14】

前記シェルが、前記シェルの底部周辺部の周りおよび前記半剛性基部の一部を包むように構成された底部材料をさらに含む、請求項 1 に記載のバッグ。

【請求項 15】

バッグであって、

側壁、上部分、縁部、開口部、前部、後部、

および下部分を画定するシェルであって、前記上部分が、前記バッグの上部周縁部を画定し、前記下部分が前記バッグの下部周縁部を画定し、前記開口部が、収納区画へのアクセスを可能にするように構成されている、シェルと、

一对の上部ストラップと、

前記一对の上部ストラップと係合された一对の下部ストラップと、

前記バッグの底部を画定する半剛性基部であって、前記シェルおよび前記半剛性基部が、前記収納区画を形成し、前記半剛性基部が、前記バッグを直立に維持するように構成されている、半剛性基部と、

前記縁部および前記側壁の前記上部分に取り付けられた前記内側ポケットの上部を取り囲むように構成された上部結合部と、

第 1 および第 2 の上部材料と、

前記収納区画に固着された挿入部であって、

前記側壁に取り付けられ、かつ第 1 の位置から第 2 の位置に移行するように構成された第 1 の内部仕切りパネルであって、前記第 1 の位置がしまい込み構成であり、前記第 2 の位置が拡張構成である、第 1 の内部仕切りパネルと、

前記第 1 の内部仕切りパネルの反対側の前記側壁に取り付けられ、かつ前記第 1 の位置から前記第 2 の位置に移行するように構成された第 2 の内部仕切りパネルと、

前記挿入部の上部分に取り付けられた一对の内側ポケットであって、

前記内側ポケットの上部部分が、前記上部結合部の下に位置決めされている、一对の内側ポケットと、をさらに備える、挿入部と、を備える、バッグ。

【請求項 16】

前記第 1 の内部仕切りパネルおよび前記第 2 の内部仕切りパネルが、前記第 1 の位置において前記側壁と同一平面にある、請求項 15 に記載のバッグ。

【請求項 17】

前記一对の上部ストラップが、肩担ぎ用ストラップとして構成され、前記一对の下部ストラップが、手持ち用ストラップとして構成されている、請求項 15 に記載のバッグ。

【請求項 18】

第 1 の上部材料が、前記バッグの外部の上部外側周縁部を取り囲むように構成されており、前記第 1 の上部材料の上部部分が、前記上部結合部の下に位置決めされている、請求項 15 に記載のバッグ。

【請求項 19】

第 2 の上部材料が、前記挿入部の上部周縁部を取り囲むように構成されており、前記第 2 の上部材料の上部部分が、前記上部結合部の下に位置決めされており、前記第 1 の上部材料の高さが、前記第 2 の上部材料の高さと同じである、請求項 18 に記載のバッグ。

【請求項 20】

バッグであって、

側壁、上部分、縁部、開口部、前部、後部、

および下部分を画定するシェルであって、前記上部分が、前記バッグの上部周縁部を画定し、前記下部分が前記バッグの下部周縁部を画定し、前記開口部が、収納区画へのアクセスを可能にするように構成されている、シェルと、

複数の持ち運び用ストラップと、

10

20

30

40

50

前記バッグの底部を画定する半剛性基部であって、前記シェルおよび前記半剛性基部が、前記収納区画を形成し、前記半剛性基部が、前記バッグを直立に維持するように構成されている、半剛性基部と、

前記側壁に取り付けられ、かつ第1の位置から第2の位置に移行するように構成された第1の内部仕切りパネルであって、前記第1の位置が、しまい込み構成であり、前記第2の位置が、拡張構成である、第1の内部仕切りパネルと、

前記第1の内部仕切りパネルの反対側の前記側壁に取り付けられ、かつ前記第1の位置から前記第2の位置に移行するように構成された第2の内部仕切りパネルであって、前記第1の内部仕切りパネルおよび前記第2の内部仕切りパネルが、前記第1の位置において前記側壁と同一平面にある、第2の内部仕切りパネルと、

10

前記側壁の上部分に取り付けられた一对の内側ポケットと、

前記縁部および前記側壁の前記上部分に取り付けられた前記一对の内側ポケットの上部を取り囲むように構成された上部結合部と、を備える、バッグ。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本開示は、概して、トートストラップもしくはハンドルを介してトートを手で持つか、または肩に担ぐことによって、様々な品物を持ち運ぶか、または移送させるために有用な非剛性の携帯可能なトートバッグもしくはパックに関する。

【背景技術】

20

【0002】

トートまたはキャリーバッグは、個人が大きいまたはかさ張った物体を含む様々な品物を持ち運ぶか、または移送させるための手段であり得る。トートバッグは、ある場合では、鞆よりも持ち運びが容易であり得、かつ丈夫な布、皮、重い帆布、プラスチックなどから作製され得る。トートバッグは、安全対策が施されていない開口部を有し得、およびバッグの側面に取り付けられた大きい平行な肩ストラップを含むことができる。

【発明の概要】

【0003】

本概要は、以下の発明を実施するための形態でさらに説明される簡略化された形態における本発明に関連するいくつかの一般的な概念への導入を提供する。この概要は、本発明の主要な特徴または本質的な特徴を特定することを意図したものではない。

30

【0004】

一態様では、例示的なトートバッグは、非常に耐久性、耐水性、抗菌性があり、かつホースまたは他の手段からの水で流すことによって容易に洗浄することができる、容易に携帯可能なバッグを個人に提供し得る。本明細書の開示の他の態様は、(1)側壁を画定する外側シェル、(2)内側底部ライナ、(3)外側シェルおよび内側底部ライナによって形成された収納区画、(4)収納区画へのアクセスを可能にするように構成された開口部、ならびに(4)収納区画内に内容物があるなしに関わらずバッグを直立に保つように構成された半剛性基部のうちの一つ以上を有するトートバッグおよびトートバッグを作製する方法に関する。

40

【0005】

別の態様では、例示的なバッグは、側壁、上部分、縁部、開口部、前部、後部、および下部分を画定するシェルを含み得、上部分は、バッグの上部周縁部を画定し得、下部分は、バッグの下部周縁部を画定し得、開口部は、収納区画へのアクセスを可能にするように構成され得る。いくつかの例では、バッグは、複数の持ち運び用ストラップ、バッグの底部を画定する半剛性基部をさらに含み得、シェルおよび半剛性基部は、収納区画を形成し、半剛性基部は、バッグを直立に維持するように構成され得る。他の例では、バッグは、側壁に取り付けられ、かつ第1の位置から第2の位置に移行するように構成された第1の内部仕切りパネルを含んでもよく、第1の位置は、しまい込み構成であり得、第2の位置は、拡張構成であり得る。他の例では、バッグは、側壁の上部分に取り付けられた少なく

50

とも1つの内側ポケット、および縁部を取り囲むように構成された上部結合部を含み得、内側ポケットの上部は、側壁の上部分に取り付けられ得る。

【0006】

他の例では、バッグは、側壁に取り付けられ、かつ第1の位置から第2の位置に移行するように構成された第2の内部仕切りパネルを含んでもよく、第1の内部仕切りパネルは、第2の内部仕切りパネルの反対側に位置決めされ得る。他の例では、第1の内部仕切りパネルおよび第2の内部仕切りパネルは、第1の位置において側壁と同一平面にあり得る。さらなる別の例では、バッグは、側壁の上部分に取り付けられ、かつ少なくとも1つの内側ポケットの反対側に位置決めされた第2の内側ポケットをさらに含んでもよい。また他の例では、バッグは、バッグの開口部を実質的に閉鎖するように構成された閉鎖デバイスを含んでもよく、閉鎖デバイスの部分は、上部結合部の下に位置決めされ得る。いくつかの例では、閉鎖デバイスは、留め具を含み得、留め具は、留め具と反対側に位置決めされた材料のループと係合するように構成されている。

10

【0007】

別の例では、バッグは、バッグの外部の上部外側周縁部を取り囲むように構成された第1の上部材料を含み得、第1の上部材料の上部部分は、上部結合部の下に位置決めされ得る。他の例では、バッグは、バッグの内部の上部内側周縁部を取り囲むように構成された第2の上部材料を含み得、第1の上部材料の上部部分は、上部結合部の下に位置決めされ得る。いくつかの例では、少なくとも1つの内側ポケットの上部部分は、第2の上部材料の下および/または上部結合部の下に位置決めされ得る。さらなる他の例では、第1および第2の上部材料は、縫合で側壁に固定され得、上部結合部は、ナイロンを含み得る。一例では、シェルはまた、シェルの底部周辺部の周りおよび半剛性基部の一部を包むように構成された底部材料を含み得る。

20

【0008】

さらなる別の態様では、例示的なバッグは、側壁、上部分、縁部、開口部、前部、後部、および下部分を画定するシェルを含み得、上部分は、バッグの上部周縁部を画定し得、下部分は、バッグの下部周縁部を画定し得、開口部は、収納区画へのアクセスを可能にするように構成され得る。他の例では、バッグは、複数の持ち運び用ストラップ、バッグの底部を画定する半剛性基部を含み得、シェルおよび半剛性基部は、収納区画を形成し、半剛性基部は、バッグを直立に維持するように構成され得る。いくつかの例では、バッグは、側壁に取り付けられ、かつ第1の位置から第2の位置に移行するように構成された第1の内部仕切りパネルを含んでもよく、第1の位置は、しまい込み構成であり、第2の位置は、拡張構成である。さらなる別の例では、バッグはまた、第1の内部仕切りパネルの反対側の側壁に取り付けられ、かつ第1の位置から第2の位置に移行するように構成された第2の内部仕切りパネルを含み得、第1の内部仕切りパネルおよび第2の内部仕切りパネルは、第1の位置において側壁と同一平面にある。別の例では、バッグは、側壁の上部分に取り付けられた一对の内側ポケット、ならびに縁部および側壁の上部分に取り付けられた一对の内側ポケットを取り囲むように構成された上部結合部を含み得る。

30

【0009】

他の態様では、例示的なバッグは、側壁、上部分、縁部、開口部、前部、後部、および下部分を画定するシェルを含み得、上部分は、バッグの上部周縁部を画定し得、下部分は、バッグの下部周縁部を画定し得、開口部は、収納区画へのアクセスを可能にするように構成され得る。他の例では、バッグは、一对の上部ストラップ、一对の上部ストラップと係合した一对の下部ストラップ、バッグの底部を画定し得る半剛性基部を含み得る。シェルおよび半剛性基部は、収納区画を形成し得、半剛性基部は、バッグを直立に維持するように構成され得る。別の例では、バッグは、縁部および側壁の上部分に取り付けられた内側ポケットの上部を取り囲むように構成された上部結合部、第1および第2の上部材料、ならびに収納区画に固着された挿入部を含み得る。他の態様では、挿入部はまた、側壁に取り付けられ、かつ第1の位置から第2の位置に移行するように構成された第1の内部仕切りパネルを含んでもよく、第1の位置は、しまい込み構成であり、第2の位置は、拡張

40

50

構成である。さらなる他の例では、挿入部は、第 1 の内部仕切りパネルの反対側の側壁に取り付けられ、かつ第 1 の位置から第 2 の位置に移行するように構成された第 2 の内部仕切りパネルを含み得る。いくつかの例では、挿入部は、取り外し可能であってもよい。他の例では、挿入部は、側壁に取り付けられてもよい。

【 0 0 1 0 】

他の例では、バッグはまた、挿入部の上部分に取り付けられた一对の内側ポケットを含み得、内側ポケットの上部部分は、上部結合部の下に位置決めされ得る。いくつかの例では、第 1 の内部仕切りパネルおよび第 2 の内部仕切りパネルは、第 1 の位置において側壁と同一平面にあり得る。他の例では、一对の上部ストラップは、肩担ぎ用ストラップとして構成され得、一对の下部ストラップは、手持ち用ストラップとして構成され得る。いくつかの例では、第 1 の上部材料は、バッグの外部の上部外側周縁部を取り囲むように構成され得、第 1 の上部材料の上部部分は、上部結合部の下に位置決めされ得る。さらなる別の例では、第 2 の上部材料は、挿入部の上部周縁部を取り囲むように構成され得、第 2 の上部材料の上部部分は、上部結合部の下に位置決めされ得る。いくつかの例では、第 1 の上部材料の高さは、第 2 の上部材料の高さと同じであり得る。

10

【 0 0 1 1 】

前述の「発明の概要」ならびに以下の「発明を実施するための形態」は、参照符号が現れる様々な図の全てにおいて同様の参照番号が同じまたは同様の要素を指す添付図面と併せて考慮すると、より良好に理解されるであろう。

20

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 2 】

【 図 1 】本開示の態様による、例示的なトートバッグの右正面斜視図を示す。

【 図 2 A 】ストラップのない図 1 の例示的なトートバッグの右正面斜視図を示す。

【 図 2 B 】図 1 の例示的なトートバッグの底部斜視図を示す。

【 図 3 】図 1 の例示的なトートバッグの別の右正面斜視図を示す。

【 図 4 A 】図 1 の例示的なトートバッグの底部斜視図を示し、半剛性基部の断面図の拡大部分の概略図を例解する。

【 図 4 B 】図 1 の例示的なトートバッグの底部斜視図を示し、半剛性基部の断面図の拡大部分の概略図を例解する。

【 図 5 A 】トートバッグの内部の内側ポケット 2 1 2 の設置を示す図 1 の例示的なトートバッグの透明な正面斜視図を示す。

30

【 図 5 B 】ジッパを有する内側ポケットの拡大図を例解する。

【 図 6 A 】別の例示的なトートバッグの正面図を示す。

【 図 6 B 】図 6 A の例示的なトートバッグの側面斜視図を示す。

【 図 7 A 】別の例示的なトートバッグの正面図を示し、バッグの拡大部分の概略図を例解する。

【 図 7 B 】別の例示的なトートバッグの正面図を示し、バッグの拡大部分の概略図を例解する。

【 図 8 A 】図 7 A ~ 図 7 B の例示的なトートバッグのための例示的な手持ちストラップの代替的な正面斜視図を示す。

40

【 図 8 B 】図 8 A の例示的なトートバッグのための例示的な手持ちストラップの概略分解図を示す。

【 図 8 C 】図 8 B のストラップ構造の断面図を示す。

【 図 8 D 】代替的なストラップ構造の拡張断面図である。

【 図 9 】特定の実施形態の提案寸法を含む例示的なトートバッグの別の概略図を例解する。

【 図 1 0 】図 9 の例示的なトートバッグの概略的な分解正面図を示す。

【 図 1 1 A 】別の例示的なトートバッグの代替的な底部図を示す。

【 図 1 1 B 】図 1 1 A の半剛性基部の断面図の拡大部分の概略図を例解する。

【 図 1 2 A 】別の例示的なトートバッグの正面図を示し、M O L L E ループを含むバッグ

50

の拡大部分の概略図を例解する。

【図 1 2 B】別の例示的なトートバッグの正面図を示し、M O L L E ループを含むバッグの拡大部分の概略図を例解する。

【図 1 3 A】別の例示的なトートバッグの正面図を示し、手持ちストラップを含むバッグの拡大部分の概略図を例解する。

【図 1 3 B】別の例示的なトートバッグの正面図を示し、手持ちストラップを含むバッグの拡大部分の概略図を例解する。

【図 1 4 A】図 1 4 A は、図 1 2 A ~ 図 1 2 B の例示的なトートバッグの内部の断面図である。

【図 1 4 B】図 1 4 B - 1 は、トートバッグの内部にあるポケットの設置の図を有するトートバッグの正面図を例解し、図 1 4 B - 2 はトートバッグの内部ポケットの寸法を図示する。 10

【図 1 4 C】図 1 4 C は、図 1 2 A ~ 図 1 2 B の例示的なトートバッグの内部の別の断面図である。

【図 1 5】別の例示的なトートバッグの様々な斜視図を示す。

【図 1 6】別の例示的なトートバッグの様々な斜視図を示す。

【図 1 7】別の例示的なトートバッグの様々な斜視図を示す。

【図 1 8】別の例示的なトートバッグの様々な斜視図を示す。

【図 1 9】別の例示的なトートバッグの様々な斜視図を示す。

【図 2 0】別の例示的なトートバッグの様々な斜視図を示す。 20

【図 2 1】別の例示的なトートバッグの様々な斜視図を示す。

【図 2 2】本開示の態様による、代替的な例示的トートバッグの上部正面斜視図および内部図を示す。

【図 2 3】図 2 2 の例示的なトートバッグの上後部斜視図および内部図を示す。

【図 2 4】図 2 3 の例示的なトートバッグの内部の例示的な閉鎖デバイスの拡大図を示す。

【図 2 5】図 2 4 の閉鎖デバイスの近接図を示す。

【図 2 6】図 2 2 のトートバッグの内部の例示的な閉鎖デバイスの拡大図を示す。

【図 2 7】図 2 2 のトートバッグの例示的な閉鎖デバイスの拡大図を示す。

【図 2 8】トートバッグの開口部を固定する閉鎖デバイスを有する図 2 2 の例示的なトートバッグの上部正面斜視図を示す。 30

【図 2 9】図 2 8 の閉鎖デバイスの拡大図を示す。

【図 3 0】本開示の態様による、代替的な例示的トートバッグの上部内部図を示す。

【図 3 1】本開示の態様による、代替的な例示的トートバッグの内部の仕切りの上部内部図を示す。

【図 3 2】本開示の態様による、2つの内部の仕切りを有する代替的な例示的トートバッグの上部内部図を示す。

【図 3 3】1つの内部の仕切りが拡張位置にあり、第2の内部の仕切りがしまい込み位置にある状態の、図 3 2 の例示的なトートバッグの別の上部内部図を示す。

【図 3 4】本開示の態様による、2つの内部の仕切りを有する代替的な例示的トートバッグの整理用挿入部の上部断面概略図を例解する。 40

【図 3 5 A】本開示の態様による、代替的な例示的トートバッグのための取り外し可能な整理用挿入部の正面図および後部図をそれぞれ例解する。

【図 3 5 B】本開示の態様による、代替的な例示的トートバッグのための取り外し可能な整理用挿入部の正面図および後部図をそれぞれ例解する。

【図 3 6 A】本開示の態様による、代替的な例示的トートバッグの収納区画のための代替的な内部の整理用挿入部の概略図である。

【図 3 6 B】本開示の態様による、代替的な例示的トートバッグの収納区画のための代替的な内部の整理用挿入部の概略図である。

【図 3 6 C】本開示の態様による、代替的な例示的トートバッグの収納区画のための代替 50

的な内部の整理用挿入部の概略図である。

【図36D】本開示の態様による、代替的な例示的トートバッグの収納区画のための代替的な内部の整理用挿入部の概略図である。

【図37A】本開示の態様による、代替的な例示的トートバッグの内部のための代替的な内部ポケットの概略図である。

【図37B】本開示の態様による、代替的な例示的トートバッグの内部のための代替的な内部ポケットの概略図である。

【図38】本開示の態様による、例示的なトートバッグの基部の概略図である。

【発明を実施するための形態】

【0013】

以下の様々な例および本開示の構成要素の説明では、その一部を形成し、本開示の態様が実施可能な様々な例示的な構造および環境として示される添付の図面を参照する。他の構造および環境が利用されてもよく、本開示の範囲から逸脱することなく、具体的に説明した構造および方法から構造的および機能的変更が行われてもよいことを理解されたい。

【0014】

また、「前部」、「表側」、「後部」、「裏側」、「上部」、「基部」、「底部」、「側面」、「反対側」、「前方」、および「後方」などの用語は、様々な例示的な特徴および要素を説明するために本明細書において使用され得、これらの用語は、便宜上、例えば図に示される例示的な配向および/または典型的な使用における配向に基づいて、本明細書において使用される。本明細書のいかなるものも、特許請求の範囲内に含めるために、構造の特定の三次元的または空間的方向付けを必要とすると解釈されるべきではない。

【0015】

図1～図3は、様々な品物を持ち運ぶか、または収容するように構成され得る例示的なトートバッグを図示する。トートバッグは、概して、外側シェル216、肩ストラップ218、手持ちストラップ210、基部215、開口部、および収納区画504を含むことができる。図1および図2Aに示されるように、外側シェル216は、所望の内容物を中に受容するための収納区画504を形成する。図2Bは、収納区画504内に内容物があるなしに関わらず、トートバッグを直立に保つように構成される半剛性基部215を図示する。半剛性基部は、卵形、楕円形、矩形、円形、四角形などの形状であるように構成され得る。図1に示されるように、様々なハンドル、ストラップ、およびウェブ（例えば、218、210）およびMOLLEループ、ならびに縫合の縫い目またはかん止め（例えば、224、222）がまた、トートバッグを持ち運ぶか、保持するか、または固定するため、または他の品物をトートバッグに固定するために含まれ得る。図1および図2Aはまた、外側シェル216によって形成された収納区画504の内部に取り付けられたポケット212を図示する。また図1および図2Aに示されるのは、外側シェルが、単一の独自区画を形成するために融着されるか、または接続される、単一の縫い目217である。

【0016】

トートバッグは、ジッパまたは防水性ジッパで閉鎖される開口部を含むように構成され得る。このような構成では、トートバッグは、実質的に耐水性であり、湿潤条件中、より長時間にわたり所望の内容物の乾燥状態を保つことができる。開口部が、防水性ジッパに加えて様々な封止デバイス、例えば、ベルクロ（登録商標）、ボタン、スナップ、バックル、ジッパ、複数回折りたたまれる余剰材料を含んで、ロールダウン封止部などの封止部を形成することができ、封止部、金属またはプラスチックランプおよびこれらの組み合わせが、開口部を封止するために使用され得ることがまた企図される。一例では、トートバッグはまた、収納区画504の内側に水を維持するように設計され得、トートバッグは、外側から中への「防水性」であるように構成され得る。換言すると、トートバッグは、外側シェル216の内側および底部内側ライナ219で「水密」が形成され得、水または他の液体を移送させるように構成される。別の例では、トートバッグ収納区画は、排水口を含むように構成され、排水口は、外側シェルを貫通し、および排水口は、流体が収納区画から排水されることを可能にする。かかる構成は、ユーザが、ホース、電動ウォッシャ

10

20

30

40

50

、または他の洗浄デバイスでトートバッグ収納区画を容易に洗うか、またはすすぐことを可能にし、水がトートバッグから排水されることを可能にする。

【0017】

図2Aはまた、補強パッチ220を図示し、これはある例では、外側シェル216およびストラップ218に溶接されるか、または融着され得、ある例では、ストラップをパッチ220に結合することによって外側シェルに接続され得る。一例では、結合材料は、ナイロンであり得る。外側シェルおよび内側ライナは、抗菌性または抗カビ性である材料から製造され得る。トートバッグはまた、内部に収納された内容物を実質的に乾燥状態に保つために、耐水性または防水性である材料から製造され得る。

【0018】

図3は、例示的なトートバッグの右正面図を図示する。トートバッグは、肩ストラップ218および手持ちストラップ210を含む。また図示されるのは、上部結合部503および底部テープ布帛502である。また視認されるものは、単一の外側シェル縫い目217、外側上部テープ布帛501aおよび内側上部テープ布帛501bである。ストラップ218は、MOLLEループ224および縫合縫い目222をさらに含む。しかしながら、MOLLEループ224は、必ずしもMOLLEである必要はなく、それらの所望の使用法に応じて、異なる形状およびサイズで異なって構成され得る。ストラップ218およびMOLLEループ224は、外側シェル補強パッチ220に縫合され得、補強パッチ220は、外側シェル216に溶接される。

【0019】

図4A～図4Bは、トートバッグの底部図を図示し、半剛性基部の構造の断面図の拡大部分の概略図を例解する。図4A～図4Bに示されるように、トートバッグは、基部215および外側シェル216および基部外側シェル226に溶接された、TPUコーティングされたナイロン底部テープ布帛221を含み得る。底部内側ライナ219はまた、外側シェル216に溶接される。溶接227は、図4A～図4Bに図示される。加えて、TPUコーティングされたナイロン積層体225およびPE発泡性基部223を有する圧縮成形EVAが、底部内側ライナ219と基部外側シェル226との間に積層される。基部215は、トートバッグが表面上に設置されるとき、トートバッグに構造的完全性および支持を提供することができ、収納区画の内側に内容物があるなしに関わらずバッグを直立に保つ。

【0020】

1つの特定の例では、基部の一部は、射出成形によって形成され得る。追加的に、一例では、EVA発泡体から形成され得る発泡性基部223は、ラミネート加工によって、またはポリマー溶接（例えば、RF溶接）、縫合、もしくは接着剤によって内側底部ライナ219の底部に固定され得る。基部外側シェル226は、ポリマー溶接（例えば、RF溶接）、縫合、または接着剤によって圧縮成形EVA225に固定され得る。同様に、圧縮成形EVA225は、ポリマー溶接（例えば、RF溶接）、縫合、または接着剤によって発泡性基部223に固定され得る。

【0021】

一例では、図5A～図5Bに示されるように、トートバッグは、第1のポケット212を含む、収納区画504を含む。第1のポケット212は、収納区画の内側のトートバッグの内側に溶接されてもよい。一例では、第1のポケット212は、ジッパ228、ジッパスライダ229、および熱収縮チューブを有するパラコードプラー230を含む。プルはまた、布、ひも、またはロープから形成されてもよい。プラーはまた、他の好適な材料とともに、金属、合金、複合材、セラミック、またはプラスチックであってもよい。別の例では、ジッパ228は、防水であり、第1のポケットは、ジッパが閉鎖されるとき防水になるように構成される。1つの特定の例では、防水性ジッパは、第1のポケット212から品物を取り出すときの損傷を防止するようにプラスチックまたは他の非金属の歯で構成することができる。第1のポケットが、防水性ジッパに加えて様々な封止デバイス、例えば、フックアンドループ、ボタン、スナップ、バックル、ジッパ、複数回折りたたまれ

10

20

30

40

50

る余剰材料を含んで、ロールダウン封止部、封止部、金属またはプラスチッククランプおよびこれらの組み合わせなどの封止部を形成することができることが企図される。ポケットはまた、透明な材料から構成されてもよく、そのため、ユーザは、ジッパを開放することなくポケットの内側の内容物を見ることができる。さらなる別の実施形態では、トートバッグは、トートバッグの収納区画内側で、第1のポケットのそのまま反対側に第2のポケットを含む。第2のポケットは、収納区画に溶接され得、第2のポケットはまた、透明な材料から構成されて、ポケットの内側の内容物を見ることができる。第1および第2のポケットの両方は、メッシュ材料から構成され得、ユーザがポケットの内容物を容易に思い描くことを可能にする。第1および第2のポケットは両方とも、本明細書で開示された任意の他の方法、または任意の既知の方法、例えば、ポリマー溶接、縫合、もしくは他の接着剤などを使用することによって、収納区画504に固定されるか、または取り付けられ得る。

10

【0022】

様々な材料が、本開示のトートバッグの構成要素を構成するために使用され得る。1つの特定の実施形態では、図2A、図2B、図3、図4、および図5に示されるように、トートバッグ構成要素は、下記の表1に概説されたそれぞれの材料から構成される。一例では、トートバッグは、概して、容易な収納および移送のために半剛性基部に折りたたむことができるか、またはつぶれることができる。

【表1】

表1

20

材料				
構成要素	説明	場所	色	注釈
212 第1のポケット	1680D 両面 TPU を有するナイロン、不透明、2色	本体	ミディアムグレイ/海泡石	420D 両側上にテクスチャ
502 底部テーブ布帛	1680D 両面 TPU を有するナイロン、不透明、1色	本体	ダークグレイ	420D 外部表面上にテクスチャ
210 手持ちストラップ	1680D ナイロンコーティングなし	本体	黒	
220 パッチまたはロゴ	1680D 両面 TPU を有するナイロン、不透明、1色	本体	ダークグレイ	420D 外部表面上にテクスチャ
503 上部結合部	420D ナイロン	上部結合部	黒	
テーブ				
構成要素	説明	場所	色	
228 ジッパ	#8 RC ジッパ	整理用ポケット内側	黒	
229 ジッパスライダ	#8 RC ジッパスライダ	整理用ポケット内側	黒	
230 ジッパブラー	熱収縮チューブを有するパラコードブラー	整理用ポケット内側	黒	
絶縁およびファイラー				
構成要素	説明	場所	色	
226 基部外側シェル	3MM EVA、(1680D ナイロン積層を有する)	圧縮成形基部	ダークグレイ	
223 発泡性基部	3MM PE スポンジ発泡体	基部	白	
ウェビング				
構成要素	説明	場所	色	
218 肩ストラップ	50MMX1.5MM ナイロンウェビング	ハンドルおよびテーブ	黒	
210 手持ちストラップ	25MMX2MM ナイロンウェビング	ハンドル	黒	
224 MOLLE ループ	25MMX1MM ナイロンウェビング	ヒッチポイントグリッド	黒	

30

40

【0023】

50

一例では、図 6 A および図 6 B に示されるように、トートバッグは、肩ストラップ 2 1 8 および手持ちストラップ 2 1 0 を含む。肩ストラップはまた、M O L L E ループ 2 2 4 を含み得る。追加的に、図 6 A および図 6 B に示されるように、M O L L E ループ 2 2 4 として形成されたウェビングは、トートバッグの前部および後部で、ストラップ 2 1 8 および 2 1 0 上に縫い付けられ得る。M O L L E ループ 2 2 4 は、品物（例えば、カラビナ、ドライバッグ）をトートバッグに取り付けるために使用することができる。手持ちストラップ 2 1 0 はまた、トートバッグを構造に固定するための別のオプションをユーザに提供することができる。

【 0 0 2 4 】

別の例では、肩ストラップ 2 1 8、手持ちストラップ 2 1 0、および M O L L E ループ 2 2 4 は、ナイロンウェビングから構成することができる。その他の素材は、ポリプロピレン、ネオプレン、ポリエステル、ダイニーマ、ケブラー、綿織物、皮、プラスチック、ゴム、またはロープを含むことができる。肩ストラップ 2 1 8 および手持ちストラップ 2 1 0 は、縫合、接着剤、またはポリマー溶接によって外側シェル 2 1 6 に取り付けることができる。さらに、図 6 A に示されるように、肩ストラップは、ストラップの背後に隠れるウェビング縫い目 5 0 5 を含んでもよい。加えて、図 6 B は、トートバッグの左側上でユーザに対向する単一のポケット縫い目 2 1 7 からの斜視図を示し、縫い目 2 1 7 は、トートバッグの一方の側面上にのみ位置付けられる。また、図 6 A および図 6 B に示されるのは、上部結合部 5 0 3、底部テープ布帛 5 0 2、外側上部テープ布帛 5 0 1 a、および基部 2 1 5 である。様々な縫い目、縫合、および結合パターンはまた、図 6 A および図 6 B 内の例示的なトートバッグ上に示される。

【 0 0 2 5 】

一例では、図 7 A ~ 図 7 B に示されるように、トートバッグは、肩ストラップ 2 1 8 および手持ちストラップ 2 1 0 を含む。肩ストラップは、補強パッチ 2 2 0 に取り付けられ、パッチ 2 2 0 は、外側シェルに溶接される。一例では、補強パッチ 2 2 0 は、図 7 A ~ 図 7 B に図示されるように、上部結合部 5 0 3 の上方および下方に延在する。補強パッチ 2 2 0 は、パッチの周辺部の周りに 0 . 2 5 c m、0 . 5 c m、0 . 7 5 c m、1 . 0 c m、1 . 5 c m、1 . 7 5 c m、または 2 . 0 c m の溶接を含むことができる。

【 0 0 2 6 】

別の例では、図 8 A ~ 図 8 C に示されるように、トートバッグは、肩ストラップ 2 1 8 および手持ちストラップ 2 1 0 を含む。ストラップは、ナイロンウェビングの 3 つの材料または区分をともに結合することによって構成され、外側肩ストラップ 2 1 8、トートバッグの内側に向かって対向する手持ちストラップ 2 1 0 に結合し、および中間の手持ちストラップ補強層 2 1 1 を含む。別の例では、図 8 C に示されるように、肩ストラップ 2 1 8 は、少なくとも 5 0 m m x 1 . 5 m m のナイロンウェビングであり、手持ちストラップ補強層 2 1 1 は、少なくとも 2 5 m m x 2 m m のナイロンウェビングであり、手持ちストラップ 2 1 0 は、コーティングされていないナイロンである。表 1 を参照されたい。別の例では、図 8 D に示されるように、代替的な手持ちストラップ 2 1 0 の構造は、肩ストラップ 2 1 8 に取り付けられた手持ちストラップ 2 1 0 を厚くし、かつ強化するために、内部の剛性または半剛性支持ロッド 3 0 1 を含む。拡張された断面図では、1 つまたは 2 つのロッド 3 0 1 が、手持ちストラップ 2 1 0 を形成するウェビング 3 0 3 の層内に収容される。別の例では、ロッド 3 0 1 は、手持ちストラップ 2 1 0 を形成するウェビング 3 0 2 の別の層によって取り囲まれたウェビング 3 0 3 の層内に収容される。別の例では、ロッド間に縫い付けられた縫合 3 0 4 が、ロッド 3 0 1 を分離する。ロッド 3 0 1 は、発泡体、ポリプロピレン、ネオプレン、ポリエステル、ダイニーマ、ケブラー、綿布帛、皮、プラスチック、ゴム、木、金属、またはロープから構成され得る。さらなる別の例では、手持ちストラップ 2 1 0 は、縫合、接着剤またはポリマー溶接によってタブ 3 0 5 に固定され、これが縫合、接着剤、またはポリマー溶接によって肩ストラップ 2 1 8 に固定される。

【 0 0 2 7 】

さらなる別の例では、図 9 および図 10 に示されるように、トートバッグは、様々な寸法からなり得る。一例では、肩ストラップは、トートバッグが手持ちストラップによって持ち運ばれるとき、基部の水平面の上方にとどまるように構成される。別の例では、手持ちストラップ 210 は、各々、第 1 の垂直部分 601、第 2 の水平区分 602、および第 3 の垂直部分 603 を含んで、U 形状を形成し得、一例では、少なくとも第 1 の垂直部分および第 2 の垂直部分が、肩ストラップ 218 に取り付けられる。別の例では、肩ストラップ 218 は、トートバッグの開口部上方に第 1 の長さ 604 を画定し得、手持ちストラップ 210 は、肩ストラップ 218 の第 1 の長さに沿った中間点以下に位置決めされ得る。また別の例では、肩ストラップ 218 は、上部ハンドル 606 を画定し、手持ちストラップ 210 は、下部ハンドルを画定し、上部ハンドルと下部ハンドルとの間の距離は、第 2 の長さ 605 であり、第 2 の長さは第 1 の長さ未満である。この例では、第 2 の長さ 605 は、バッグ 607 の高さ未満であり得る。さらなる別の例では、肩ストラップ 218 の長さ 604 は、バッグ 607 の高さ未満である。また別の例では、肩ストラップ 218 は、バッグの高さの少なくとも 70% である。1 つの特定の例では、トートバッグは、幅および高さを含み、幅はバッグの高さの少なくとも 65% である。外側シェル 216 は、材料に直接取り付けられるか、成形されるか、またはエンボス加工され得るロゴまたは名称などのあるデザイン 232 を含んでもよい。

10

【0028】

追加的に、図 11 A および図 11 B に図示されるように、トートバッグの底部分は、基部 215 を含むことができ、これはトートバッグの構造的完全性に加わる。基部 215 はまた、トートバッグの底部の周りに追加の保護を提供し得る。一例では、基部 215 の部分は、EVA 発泡体 225 から形成することができる。基部 215 は、材料に直接成形されるか、またはエンボス加工され得るロゴまたは名称などのあるデザインを含み得る。基部 215 はまた、片面 PU または他の好適な材料を有する 1680D ナイロンから構成された基部外側シェル 226 を含み得る。追加的に、底部テープ布帛 502 は、ナイロンであってもよく、ナイロンは、両面であり、かつ少なくとも 1 色の TPU である。表 1 を参照されたい。

20

【0029】

さらなる他の例では、図 12 ~ 図 14 A ~ 図 14 C に示されるように、トートバッグは、様々な寸法からなり得る。他の例では、収納区画 504 は、少なくとも 20L の容量を有する。また他の例では、トートバッグは、5L、10L、15L、20L、25L、30L、35L、40L、45L、または 50L の容量を有する収納区画を含む。他の例では、図 14 A および図 14 C に示されるように、トートバッグは、内側上部テープ布帛 501b に取り付けられた内部または外部閉鎖デバイス 235a および 235b を含む。閉鎖デバイス 235a および 235b は、金属、合金、複合材、セラミック、プラスチック、または他の好適な材料であってもよい。

30

【0030】

図 13 A ~ 図 13 B に示されるように、手持ちストラップ 210 は、各々、第 1 の垂直部分、第 2 の水平区分、および第 3 の垂直部分を含んで、U 形状を形成し得、少なくとも第 1 の垂直部分および第 2 の垂直部分が、肩ストラップ 218 に取り付けられる。トートバッグはまた、肩ストラップ 218、上部テープ布帛 501a にわたる上部結合部 503 および 501b を含む。また肩ストラップ 218 および外側シェル 216 の前部上で統合されるのは、MOLLE ループ 224 である。様々な結合部または縫合が、図 12 A ~ 図 12 B および図 13 A ~ 図 13 B の拡張図内に示される。これは、縫合またはかん止め 222 ならびに裏仮縫い 231 および隠れたウェブ縫い目 505 を含む。外側シェル 216 は、1 つ以上の任意選択的なハンドルまたはストラップ（例えば、210、218）を支持するように構成することができる。これに関して、外側シェル 216 はまた、任意選択的なハンドルまたはストラップ（例えば、210、218）を構造的に支持するのを支援するように構成される複数の補強領域またはパッチ 220 を含むこともできる。ハンドルまたはストラップ（例えば、210、218）および他の付属品は、糸 222 を使用して

40

50

縫合されることができ、これらの糸 2 2 2 は、一例では、外側シェル 2 1 6 を通って収納区画に延在していない。むしろ、糸はパッチ 2 2 0 に縫い付けられ、パッチ 2 2 0 は、外側シェル 2 1 6 に R F 溶接され得る。しかしながら、ハンドルまたはストラップは、パッチ 2 2 0 に取り付けられ、および / または本明細書に開示された任意の他の方法もしくは、例えば、ポリマー溶接、縫合、または他の接着剤などの任意の既知の方法を使用して外側シェル 2 1 6 に取り付けられ得る。

【 0 0 3 1 】

別の例では、トートバッグは、トートバッグの外側シェル 2 1 6 の表側およびトートバッグの外側シェル 2 1 6 の裏側に接続される、2 つのストラップまたは持ち運びハンドル 2 1 0 を含むことができる。1 つの特定の例では、肩ストラップ 2 1 8 は、肩にわたるトートバッグの持ち運びを容易にするために追加的な詰め物を含むことができる。手持ちストラップまたはハンドル 2 1 0 は、肩ストラップ 2 1 8 がトートバッグの基部 2 1 5 の水平面の底部（例えば、バッグの底部）の下に延在しないような様式でトートバッグを把持し、持ち運ぶための別のオプションをユーザに提供する。

10

【 0 0 3 2 】

手持ちストラップ 2 1 0 はまた、リング、カラビナ、または他の取り付けデバイスを組み込んでよい。デバイスは、縫合、接着剤、またはポリマー溶接によって手持ちストラップまたは持ち運びハンドル 2 1 0 に固定され得、かつトートバッグを車両、器、キャンプ機器などの別の構造、または鍵、水筒、追加のストラップ、栓抜き、工具、他の身の回り品などの様々な物品に固定または結ぶことを助けるために使用され得る。手持ちストラップはまた、例えば、フックアンドループ、ボタン、スナップ、バックル、またはジッパ、封止、金属もしくはプラスチッククランプ、およびこれらの組み合わせなどの様々な封止部または接続デバイスを組み込むことによって互いに取り付けられ得る。

20

【 0 0 3 3 】

追加的に、図 1 3 A ~ 図 1 3 B に示されるように、ループまたは M O L L E ループ 2 2 4 として形成されたウェビングは、肩ストラップ 2 1 8 上に縫い付けられ得、またトートバッグの裏で手持ちストラップ 2 1 0 を形成する。再び、M O L L E ループ 2 2 4 は、品物（例えば、カラビナ、ドライバッグ）をトートバッグに取り付けるために使用することができる。手持ちストラップ 2 1 0 はまた、トートバッグを構造に固定するための別のオプションをユーザに提供することができる。

30

【 0 0 3 4 】

一例では、手持ちストラップ 2 1 0 および肩ストラップ 2 1 8 および M O L L E ループ 2 2 4 は、ナイロンウェビングから構成され得る。その他の素材は、ポリプロピレン、ネオプレン、ポリエステル、ダイニーマ、ケブラー、綿織物、皮、プラスチック、ゴム、またはロープを含むことができる。手持ちストラップ 2 1 0 および肩ストラップ 2 1 8 は、縫合、接着剤、またはポリマー溶接によって外側シェル 2 1 6 または補強パッチ 2 2 0 に取り付けることができる。M O L L E ループ 2 2 4 は、フィッシングルアー、鍵、栓抜き、カードホルダ、工具、他の身の回り品などの様々な品物の任意の場所の表面に設置することができる、多くの種類の品物または対応するフックの群を受容するように構成することができる。また別の例では、外側シェル 2 1 6 は、ロゴ、会社名、個人化、または他のカスタマイズを含むことができる、パッチまたはロゴ 2 3 2 を含む。パッチまたはロゴ 2 3 2 は、洗濯可能かつ UV 耐性があり、変色を防止することができる。

40

【 0 0 3 5 】

特定の例では、ポリマー溶接技術は、外部および内部方法の両方を含む。外部または熱的方法は、ホットガス溶接、ホットウェッジ溶接、ホットプレート溶接、赤外線溶接およびレーザ溶接を含むことができる。内部方法は、機械的溶接および電磁的溶接を含み得る。機械的方法は、スパイン溶接、攪拌溶接、振動溶接、および超音波溶接を含むことができる。電磁的方法は、抵抗、インプラント、エレクトロフュージョン溶接、誘導溶接、誘電溶接、R F（無線周波数）溶接、およびマイクロ波溶接を含むことができる。溶接は、平坦面または水平面において行うことができ、構成材料へのポリマー溶接の効果を最大化

50

することができる。その結果、水または流体が収納区画 5 0 4 からまたは収納区画に出るのを防止する頑丈な水密縫い目が作成され得る。

【 0 0 3 6 】

1つの特定の例では、外側シェル 2 1 6 および底部内側ライナ 2 1 9 は、二重積層 T P U ナイロン布帛から構成され得る。ナイロン布帛は、底部内側ライナ 2 1 9 および外側シェル 2 1 6 の基部材料として使用することができ、かつ布帛の両側に T P U ラミネートでコーティングされ得る。1つの特定の例において使用される T P U ナイロン布帛は、0 . 1 ~ 1 . 0 ミリメートルの厚さで、防水性があり、かつすべての食品医薬品局の要件を満たす抗菌添加剤を有する。しかしながら、トートバッグを構成するために使用される布帛は、抗菌材料を組み込んで、食品接触表面が安全であるカビのない環境を作成することが企図される。1つの特定の例では、ナイロンは、T P U を有する 8 4 0 d ナイロンとすることができる。内側底部ライナ 2 1 9 および外側シェル 2 1 6 を製造するために使用される代替的な材料は、P V C、T P U コーティングされたナイロン、コーティングされた布帛、および他の溶接可能かつ防水性の布帛を含む。表 1 を参照されたい。

【 0 0 3 7 】

発泡性基部 2 2 3 は、N B R / P V C 配合物または任意の他の好適な配合物から製造することができる。加えて、トートバッグはまた、T P U コーティングされたナイロン積層体 2 2 6 層を有する圧縮成形 E V A 2 2 5 を含み得る。圧縮成形 E V A 2 2 5 は、発泡体、プラスチック、金属または他の材料と置き換えられてもよい。一例では、基部 2 1 5 は、少なくとも 6 m m の厚さである。追加的に、図 4 A ~ 図 4 B および表 1 に示されるように、圧縮成形 E V A 2 2 5 および発泡性基部 2 2 3 は、各々 3 m m の厚さであり得る。基部外側シェル 2 2 6 は、圧縮成形 E V A 2 2 5 に積層されるが、代替的な例では、基部外側シェル 2 2 6 は、共成形、ポリマー溶接、接着剤、または任意の既知の方法によって圧縮成形 E V A 2 2 5 の底部に取り付けることができる。

【 0 0 3 8 】

図 1 5 ~ 図 2 1 は、トートバッグの代替的な例を示し、上で説明された同じ構造および機能を有し得るが、異なる形状または構成を有することができる。一例では、図 1 6 および図 1 7 に示されるように、トートバッグは、台形形状または構成を有し得る。また他の例では、トートバッグは、バッグの上部からバッグの底部まで先細りになってもよい。追加的に、図 1 5、図 1 8、および図 1 9 に示されるように、トートバッグは、各組のストラップ（すなわち、2 1 0、2 1 8）を互いに固定するためにスナップ 2 3 3 を備えることができる。これは、下部ハンドルによるバッグの容易な持ち運びを促進する。図 1 6 および図 1 7 に示されるように、外側シェル 2 1 6 は、材料に直接取り付けられるか、成形されるか、またはエンボス加工され得るロゴまたは名称などのあるデザインまたはパッチ 2 3 2 を含み得、取り外し可能（すなわち、フックアンドループパッチ 2 3 4 から）であり得る。デザインまたはパッチは、溶接、縫合、接着剤によって取り付けられ得るか、または他の方法によって固定され得る。デザインまたはパッチ 2 3 2 は、例えば、フックアンドループ、ボタン、スナップ、バックル、ジッパ、封止、金属またはプラスチッククランプ、およびこれらの組み合わせによって取り付けられ得、そのため、取り外しされ得る。トートバッグは、図 1 6 および図 1 7 に示されるように、外側シェル 2 1 6 上でバッグの片面上に、またはトートバッグの両面上にデザインまたはパッチ 2 3 2 を有し得る。また他の例では、デザインまたはパッチは、トートバッグの一方の側面または両面に永久的に固着されてもよい。他の例では、デザインまたはパッチは、トートバッグの一方の側面または両面上で取り外し可能な構成であってもよい。さらに他の例では、トートバッグの一方の側面は、永久的に固着したデザインまたはパッチを含み、他の側面は、取り外し可能なデザインまたはパッチを含んでもよい。他の例では、デザインまたはパッチ 2 3 2 は、名称、住所、電子メールアドレス、電話番号などの個人的または他のコンタクト情報を含む、鞆ラベル、名刺、または識別タグをユーザが挿入することを可能にするポケットを含むように構成されてもよい。

【 0 0 3 9 】

10

20

30

40

50

別の例では、トートバッグを形成する方法は、外側シェルを形成することと、底部内側ライナを外側シェルに設置することと、底部内側ライナを外側シェルに固定し、それにより、収納区画を形成することと、によってトートバッグを形成することを含み得る。方法はまた、半剛性基部を形成することを含むことができ、これは圧縮成形EVA、PE発泡性基部、および半剛性基部を覆うTPUコーティングされたナイロン積層体から構成される基部外側シェルから構成される。方法はまた、基部外側シェルを外側シェルに固定することと、いくつかのストラップを外側シェルに結合することと、を含むことができる。

【0040】

方法はまた、ナイロンである結合材料を含むことができ、結合材料は、外側シェル/補強パッチに縫い付けられ、パッチは、次いで外側シェルに溶接される。方法はまた、外側

10

【0041】

本方法はまた、第1の矩形および第2の矩形の少なくとも一部に断熱層を形成することと、第2の矩形よりも大きい面積の第1の矩形を形成することとを含むことができる。方法はまた、溶接によって底部内側ライナを下側外側シェルに固定することを含むことができる。方法はまた、ジッパを含み、収納区画の内側の外側シェルに溶接される第1のポケットを形成することと、第1のポケットの反対側の収納区画の内側の外側シェルに溶接される第2のポケットを形成することと、を含むことができる。

【0042】

例示的な方法は、単一の垂直縫い目を有する外側シェルを形成することを含み得る。別の例示的な方法は、ストラップを複数の補強パッチに取り付けることか、または固定することを含み、これは、次いで外側シェルに溶接される。方法はまた、複数のMOLLEループをストラップに取り付けることを含み得る。方法はまた、3つのナイロンストラップ構成要素とともに結合することによってストラップを形成することと、次いで、外側シェルに溶接された複数のパッチにストラップを結合することと、を含むことができる。方法はまた、射出成形によって半剛性基部の部分形成することを含むことができる。

20

【0043】

図22および図23は、代替的な例示的トートバッグを図示し、上で説明された同じ構造および機能を有し得るが、代替的な内部構成を有することができる。トートバッグは、収納区画504を含み得、また第1のポケット212aおよび/または第2のポケット212bを含んでもよい。第1のポケット212aは、収納区画の内側でトートバッグの内側に溶接されてもよい。第1のポケットが、防水性ジッパに加えて様々な封止デバイス、例えば、フックアンドループ、ボタン、スナップ、バックル、ジッパ、複数回折りたたまれる余剰材料を含んで、ロールダウン封止部、封止部、金属またはプラスチッククランプおよびこれらの組み合わせなどの封止部を形成することができることが企図される。ポケット212aはまた、透明な材料から構成されてもよく、そのため、ユーザは、ジッパを開放することなくポケットの内側の内容物を見ることができる。第1のポケット212aはまた、メッシュ材料から構成されてもよく、ユーザがポケットの内容物を容易に思い描くことを可能にする。第1のポケット212aは、本明細書で開示された任意の他の方法、または任意の既知の方法、例えば、ポリマー溶接、縫合、接着剤、もしくはこれらの組み合わせを使用することによって、収納区画504の内壁に固定されるか、または取り付けられ得る。他の例では、内側ポケット212aの上部部分は、内側上部テープ布帛501bの下、および/または上部結合部503の下に位置決めされ得る。内側上部テープ布帛501bは、外側シェルおよびトートバッグの開口部の上部周縁部を取り囲む外側上部

30

40

50

み合わせなどの封止部を形成し得ることが企図される。ポケット 2 1 2 b はまた、透明な材料から構成されてもよく、そのため、ユーザは、ジッパを開放することなくポケットの内側の内容物を見ることが出来る。第 2 のポケット 2 1 2 a はまた、メッシュ材料から構成されてもよく、ユーザがポケットの内容物を容易に思い描くことを可能にする。第 2 のポケット 2 1 2 b は、本明細書で開示された任意の他の方法、または任意の既知の方法、例えば、ポリマー溶接、縫合、接着剤、もしくはこれらの組み合わせを使用することによって、収納区画 5 0 4 を形成する内壁に固定されるか、または取り付けられ得る。他の例では、内側ポケット 2 1 2 b の上部部分は、内側上部テープ布帛 5 0 1 b の下、および / または上部結合部 5 0 3 の下に位置決めされ得る。

【 0 0 4 4 】

また図 2 2 および図 2 3 に示されるように、トートバッグは、少なくとも 1 つの仕切りまたはパーティション 4 0 1 を含み得る。いくつかの例では、仕切り 4 0 1 は、組立可能であり得る。他の例では、仕切り 4 0 1 は、プルタブ 4 0 3 を含んで、ユーザが仕切り 4 0 1 を、しまい込まれた、またはつぶれた位置から開放、または拡張された位置に展開することを支援し得る。いくつかの例では、トートバッグは、側面またはバッグの側壁上に位置決めされ得る一対のつぶれることができる仕切り 4 0 1 を含み得る。しまい込まれた、またはつぶれた位置では、仕切り 4 0 1 は、トートバッグの内部の側面 / 壁と同一平面状に適合し得る。プルタブ 4 0 3 はまた、内側上部テープ布帛 5 0 1 b に密着させて適合し得る。

【 0 0 4 5 】

図 2 2 および図 2 3 にさらに示されるように、トートバッグは、外側テープ布帛 5 0 1 a および / または内側上部テープ布帛 5 0 1 b の上部にわたって位置決めされ得る上部結合部 5 0 3 を含み得る。上部結合部 5 0 3 は、縫合、ポリマー溶接、接着剤、またはこれらの組み合わせによって外側シェルおよび / もしくは外側上部テープ布帛 5 0 1 a、ならびに、または内側上部テープ布帛 5 0 1 b に固定され得る。トートバッグは、バッグの表側の反対側、および収納区画の内壁上に位置決めされた閉鎖デバイス 2 3 5 a を含み得る。閉鎖デバイス 2 3 5 b は、収納区画の内壁上で閉鎖デバイス 2 3 5 a の反対側に位置決めされ得る。いくつかの例では、閉鎖デバイス 2 3 5 a およびまたは 2 3 5 b は、内側上部テープ布帛 5 0 1 b に取り付けられてもよい。他の例では、閉鎖デバイス 2 3 5 a および / または 2 3 5 b の上部部分は、上部結合部 5 0 3 の下に位置決めされ、および / または取り付けられ得る。さらに他の例では、閉鎖デバイス 2 3 5 a およびまたは 2 3 5 b は、内側上部テープ布帛 5 0 1 b と上部結合部 5 0 3 との間に挟持されてもよい。別の例では、閉鎖デバイス 2 3 5 a および / または 2 3 5 b は、縫合、接着剤、溶接、もしくは他の機械的手段、またはこれらの組み合わせによって上部結合部 5 0 3 および / または内側上部テープ布帛 5 0 1 b に固定され得る。ある例では、閉鎖デバイス 2 3 5 a および / または 2 3 5 b は、布帛のループ、ウェビングのループ、M O L L E ループであり得、または金属、合金、複合材、セラミック、プラスチック、ポリマー、もしくは他の好適な材料、またはこれらの組み合わせから構成されてもよい。

【 0 0 4 6 】

別の例示的な実施形態では、図 2 4 ~ 図 2 7 に示されるように、閉鎖デバイス 2 3 5 a および 2 3 5 b は、留め具を含み得、留め具は、留め具と反対側に位置決めされた材料のループと係合するように構成されている。図 2 4 に示されるように、閉鎖デバイス 2 3 5 b は、ウェビングまたは他の材料 2 3 6 の追加的なループと係合されてもよい。ウェビング 2 3 6 のループは、上部結合部 5 0 3 と係合されてもよい。ウェビング 2 3 6 は、縫合、接着剤、溶接、または他の機械的手段によって、上部結合部 5 0 3 および / または内側上部テープ布帛 5 0 1 b に取り付けられ得る。閉鎖デバイス 2 3 5 b はまた、金属、プラスチック、木製、ポリマー、セラミック、または他の複合材留め具を含んでもよい。留め具 2 3 5 b は、ウェビング 2 3 6 のループと一体的に形成されてもよい。いくつかの例では、閉鎖デバイス 2 3 5 b は、ポケット 2 1 2 a および 2 1 2 b のジッパ 2 2 8、ジッパスライダ 2 2 9、およびプラー 2 3 0 の上方に位置決めされ得る。図 2 6 および図 2 7 に

10

20

30

40

50

示されるように、閉鎖部 235 a は、収納区画 504 内の内容物が出ることを防止するために、バッグの開口部を実質的に閉鎖するように留め具 235 b と係合するように構成されたウェビングのループ、M O L L E ループ、または他の材料を含み得る。閉鎖部 235 a は、追加的な縫合 237 を含んで、第 1 の開口部 239 a および第 2 の開口部 239 b を作成する。開口部 239 a および / または 239 b は、閉鎖デバイス 235 b と係合するように構成され得る。

【0047】

図 28 および図 29 に示されるように、留め具 235 b は、材料 235 a のループと取り外し可能に係合して、バッグの開口部を実質的に固定かつ閉鎖する。閉鎖デバイス 235 a および 235 b は、係合位置にあるとき、閉鎖デバイス 235 a および 235 b の位置において開口部の幅を、少なくとも、約 0.5 cm、1.0 cm、1.5 cm、2.0 cm、2.5 cm、3.0 cm、3.5 cm、4.0 cm、4.5 cm、5.0 cm、5.5 cm、6.0 cm、6.5 cm、7.5 cm ~ 8.0 cm 超、これらの数未満、これらの数に等しく、またはこれらの数における任意の数で低減させ得る。この構成は、品物がバッグから落ちることを防止するために開口部が固定されることを可能にし、さらに個人が仕切り / パーティション 401 によって保持された物品を取り出すことを可能にするので有利である。閉鎖デバイスは、ジッパ、スナップ、ボタン、糸、引き出しひも、およびこれらの組み合わせを含むことができる。

10

【0048】

図 30 に示されるように、トートバッグは、複数の関節運動仕切りまたはパーティション 401 を含み得る。仕切り 401 は、外側シェルおよび収納区画 504 の側面の外形に続くように構成され得る。仕切り 401 は、縫合、溶接、接着剤、またはこれらの組み合わせによってシェルの内側の側壁に取り付けられ得る。仕切り 401 の上部および下部は、取り付けされないままになっていてもよく、図 31 に示されるように、仕切り 401 が収納されるか、または折り畳まれた位置から拡張位置に拡張するように、ユーザがタブ 403 を引くことを可能にする。

20

【0049】

図 32 に示されるように、仕切り 401 は、ユーザが仕切り 401 を拡張位置に引っ張るか、または押し進めた後、展開された、または拡張された位置のままであり得る。仕切り 401 は、収納区画が複数の区分に分割されて、個別の内容物または品物の群を互いから収納区画の内側に分離するように拡張され得る。例えば、図 33 は、バッグの収納区画 504 内に 2 つの区分を作成する、拡張位置内の第 1 の仕切り 401 を例解する。

30

【0050】

仕切り 401 およびプルタブ 403 は、片面もしくは両面 T P U を有するナイロン、コーティングされていないナイロン、E V A、またはこれらの組み合わせから構成され得る。いくつかの例では、プルタブ 403 は、ナイロンウェビングまたはナイロンウェビングのループから構成され得る。他の例では、仕切り 401 および / またはプルタブ 403 は、一方の側面が T P U であり、他方の側面が P U であってもよい。他の例では、仕切り 401 の部分またはプルタブ 403 の部分は、片面 T P U から構成された部分または側面で成形され得、かつ内部シェルに溶接されるか、または仕切りに取り付けられるか、もしくは溶接され得る。プルタブ 403 は、仕切り 401 と一体であってもよく、または別個の構成要素として形成され、かつ仕切り 401 の上部に取り付けられてもよい。他の例では、プルタブ 403 は、ラミネート加工によって、またはポリマー溶接（例えば、R F 溶接）、縫合、または接着剤によって、仕切り 401 に取り付けられてもよい。いくつかの例では、プルタブ 403 は、図 33 に示されるように仕切り 401 の内部上部部分に取り付けられ得る。他の例では、仕切り 401 は、仕切り 401 の上部境界に沿って補強層または折り目 404 を含んで、仕切り 401 の強度、耐久性、および剛性を増加させ得る。仕切り 401 がしまい込まれたまたはつぶれた位置にあるとき、補強層 404 は、内側上部テープ布帛 501 b の底部の下に据え付けられ得る。他の例では、補強層 404 または仕切り 401 の上部は、平滑な縫い目（すなわち、重ね合わせない構成要素）を形成する内

40

50

側上部テープ布帛 5 0 1 b の底部と接触して位置決めされ得る。プルタブ 4 0 3 はまた、仕切り 4 0 1 を拡張するかまたは折り畳むことを試みるとき、ユーザの器用さの助けとなるように、プルタブ 4 0 3 の上部境界上の隆起線または折り目を含み得る。隆起線または折り目はまた、ユーザが視覚的な接触なく（すなわち、感覚のみで）プルタブ 4 0 3 を見出す助けとなり得る。タブ 4 0 3 はまた、仕切り 4 0 1 を操作するとき個人の器用さの助けとなるように、等脚台形、台形、四角形、卵形、楕円形、矩形、円形、または三日月形のような形状であってもよい。図 3 3 に示されるように、仕切り 4 0 1 は、内側ポケット 2 1 2 の側面に近接するシェルに取り付けられる側面を含む。いくつかの例では、仕切り 4 0 1 は、ラミネート加工、ポリマー溶接（例えば、RF 溶接）、縫合、接着剤、ベルクロ（登録商標）、ボタン、スナップ、バックル、ジッパ、または他の機械的手段によって、側壁に取り付けられ得る。いくつかの例では、仕切りは、着脱可能であり得る。他の例では、仕切り 4 0 1 は、縫い目、縫い糸、または溶接を内側ポケット 2 1 2 の側面と共有し得る。他の例では、仕切り 4 0 1 の側面は、内側ポケット 2 1 2 a および / または 2 1 2 b の側面を形成し得る。

10

【0051】

代替的な実施形態では、図 3 4 に示されるように、挿入部 4 0 0 が、本明細書に開示されたトートバッグの内部収納区画 5 0 4 に取り外し可能に取り付けられるように構成され得る。挿入部 4 0 0 は、ラミネート加工、ポリマー溶接（例えば、RF 溶接）、縫合、接着剤、ベルクロ（登録商標）、ボタン、スナップ、バックル、ジッパ、または他の機械的手段によって、収納区画に取り付けられ得る。いくつかの例では、挿入部 4 0 0 は、バッグへの物理的なアタッチメントなしで、収納区画 5 0 4 に嵌合するように構成される。挿入部 4 0 0 は、取り外し可能な底部 4 0 7 を含み得る。いくつかの例では、底部 4 0 7 は、折りたたみ可能であり得る。ある例では、挿入部 4 0 0 は、折りたたみ可能である。挿入部 4 0 0 の構成要素は、片面もしくは両面 TPU を有するナイロン、コーティングされていないナイロン、EVA、綿、木、皮、黄麻布、合成繊維、発泡体、ポリプロピレン、ネオプレン、ポリエステル、ダイニーマ、ケブラーまたはこれらの組み合わせから構成され得る。挿入部 4 0 0 は、端部パネル 4 0 5、仕切り 4 0 1、および底部 4 0 7（図 3 8 を参照）を含み得る。仕切り 4 0 1 は、前述の仕切りと同じように機能し得、同じ様式で構成され得る。底部 4 0 7 は、挿入部 4 0 0 から取り外し可能であり得、挿入部 4 0 0 に追加的な支持構造を提供し得る。挿入部 4 0 0 はまた、図 3 7 A ~ 図 3 7 B にも示されるような少なくとも 1 つの内部ポケット 4 1 2 a / 4 1 2 b を含み得る。内部ポケット 4 1 2 a および 4 1 2 b は、同じ構成要素を含み得、かつ前述の内側ポケット 2 1 2 a および 2 1 2 b と同じ様式で構成され得る。

20

30

【0052】

図 3 5 A および図 3 5 B は、挿入部 4 0 0 の正面図および後部図を例解する。内部ポケット 4 1 2 a および 4 1 2 b は、前および後パネル 4 0 6 上に位置決めされ、ポケット 2 1 2 a および 2 1 2 b として構成され、かつ同じ特徴を有し得る。前および後パネル 4 0 6 は、端部パネル 4 0 5 と係合され得る。パネル 4 0 6 は、ラミネート加工、ポリマー溶接（例えば、RF 溶接）、縫合、接着剤、ベルクロ（登録商標）、ボタン、スナップ、バックル、ジッパ、または他の機械的手段によって、端部パネル 4 0 5 に取り付けられ得る。いくつかの例では、端部パネル 4 0 5 は、ラミネート加工、ポリマー溶接（例えば、RF 溶接）、縫合、接着剤、ベルクロ（登録商標）、ボタン、スナップ、バックル、ジッパ、または他の機械的手段によって、ポケット 4 1 2 a および 4 1 2 b の側面に直接取り付けられ得る。

40

【0053】

また図 3 5 A、図 3 5 B、図 3 6 A、図 3 6 B、図 3 6 C、および図 3 6 D に示されるように、挿入タブ 4 0 9 は、端部パネル 4 0 5 に取り付けられ得る。挿入タブ 4 0 9 は、ラミネート加工、ポリマー溶接（例えば、RF 溶接）、縫合、接着剤、またはこれらの組み合わせによって端部パネル 4 0 5 に取り付けられ得る。挿入タブ 4 0 9 は、挿入部 4 0 0 を支えるか、保持するか、操作するか、もしくは固定するために、またはリング、カラ

50

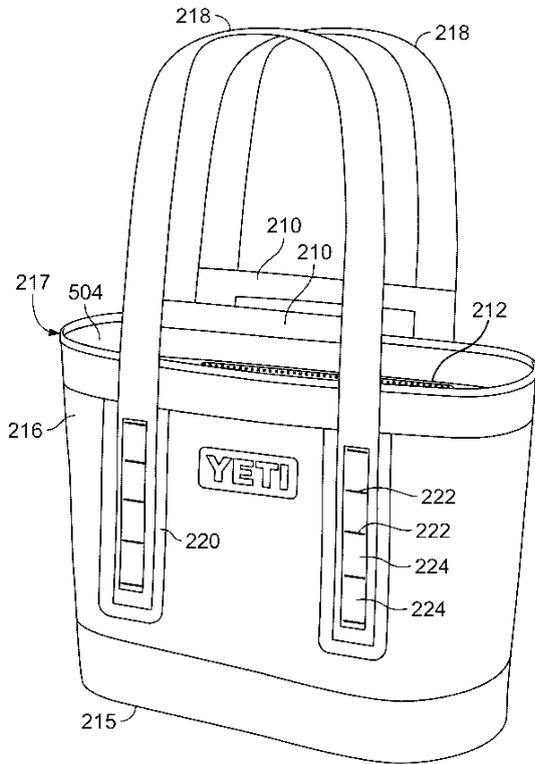
ピナ、もしくは他の取り付けデバイスなどの品物の持ち運びのために、ハンドル、ストラップ、ウェビング、MOLLEループ、縫合縫い目、またはバーを備え得る。

【0054】

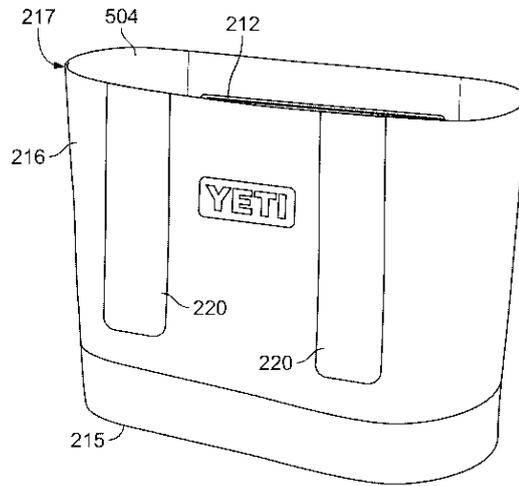
本開示は、上記を開示し、様々な例を参照する図面を添付している。しかしながら、本開示によって提供される目的は、本発明の範囲に限定されるわけではなく、本発明に係る様々な特徴および概念の例を提供することである。当業者であれば、本発明の範囲を逸脱することなく、上記で述べた例に対して数多くの変形および変更がなされ得ると認識するであろう。

【図面】

【図1】



【図2A】



10

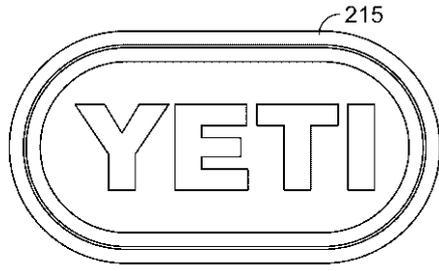
20

30

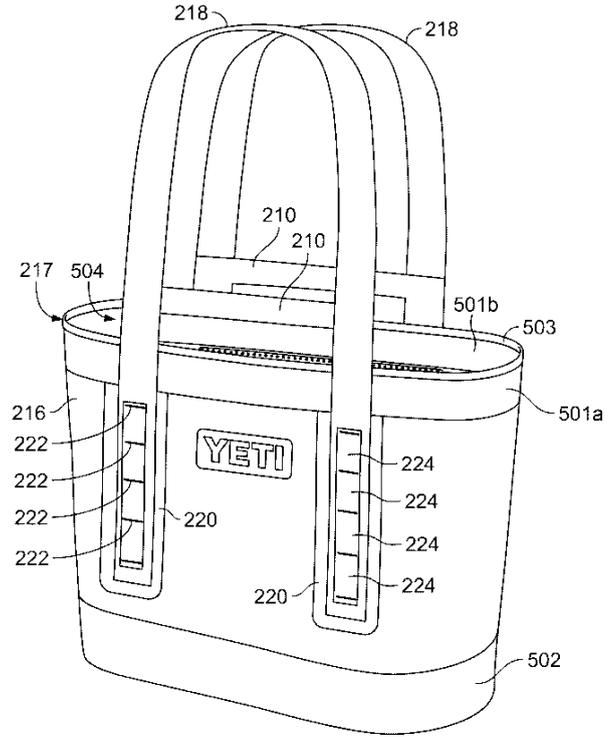
40

50

【 2 B 】



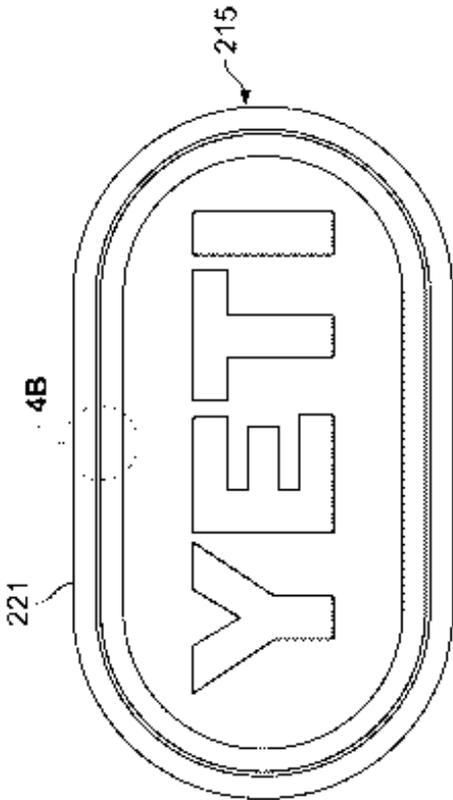
【 3 】



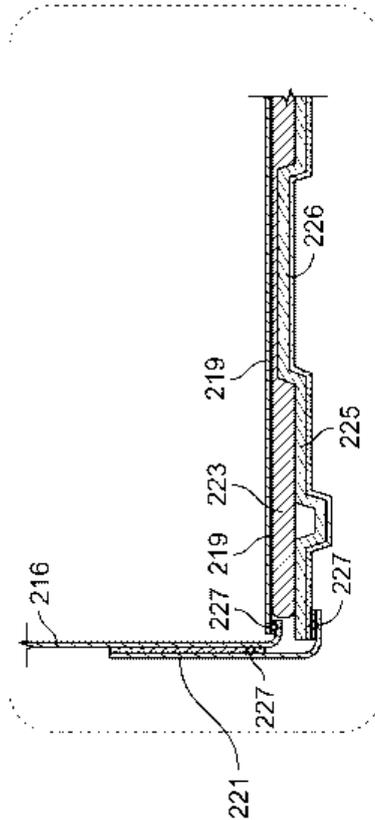
10

20

【 4 A 】



【 4 B 】

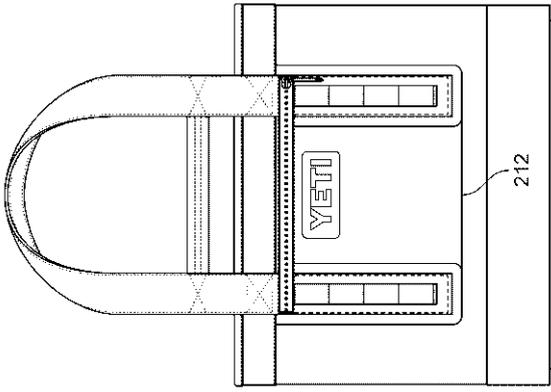


30

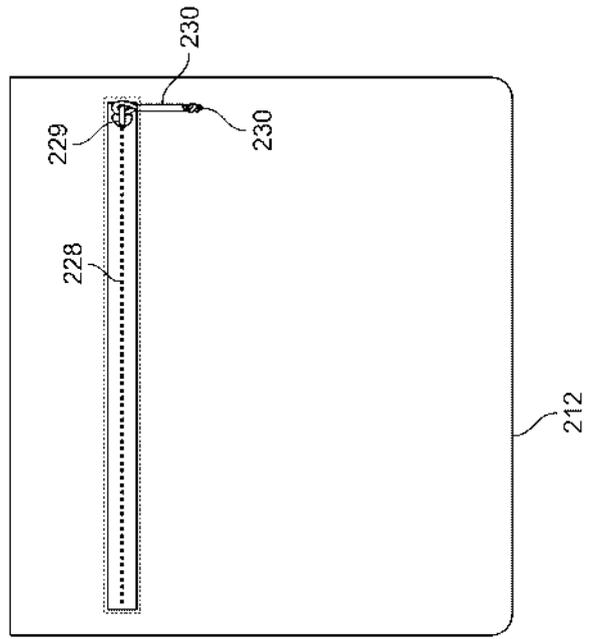
40

50

【 5 A 】



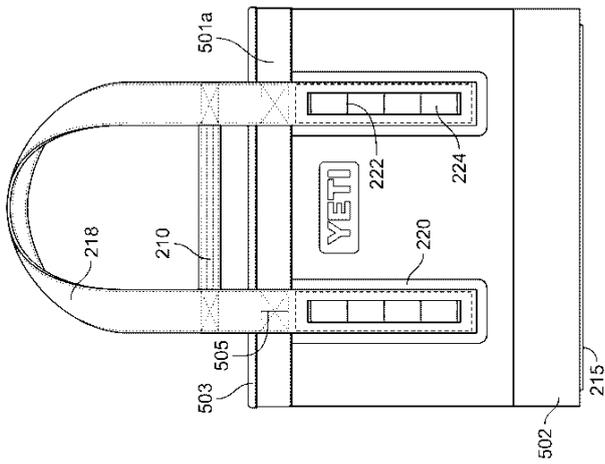
【 5 B 】



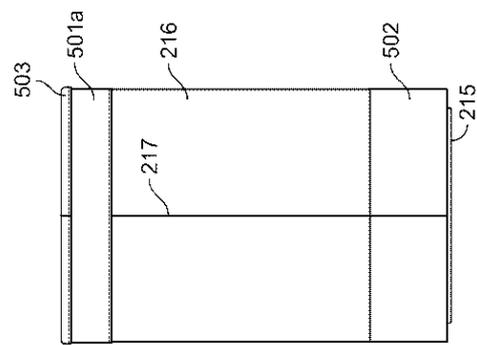
10

20

【 6 A 】



【 6 B 】

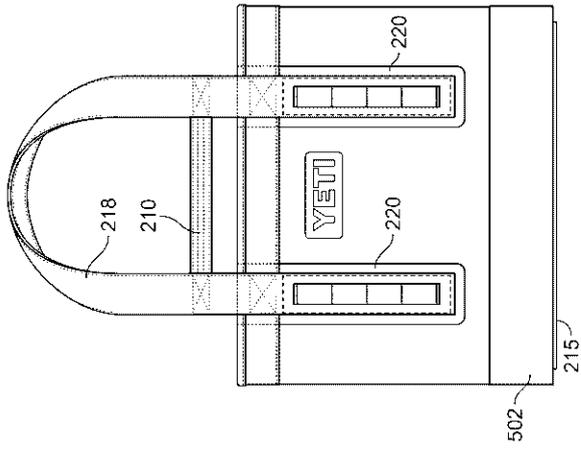


30

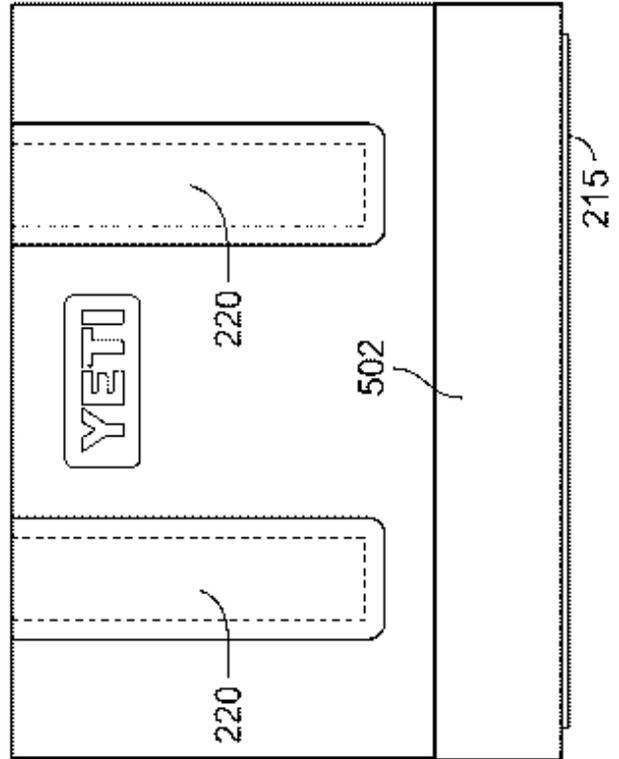
40

50

【 図 7 A 】



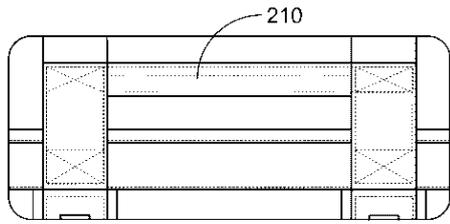
【 図 7 B 】



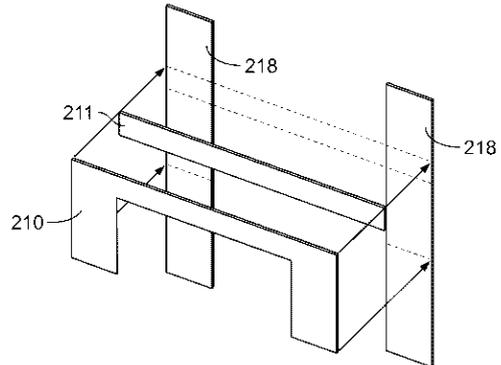
10

20

【 図 8 A 】



【 図 8 B 】

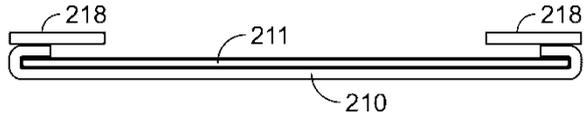


30

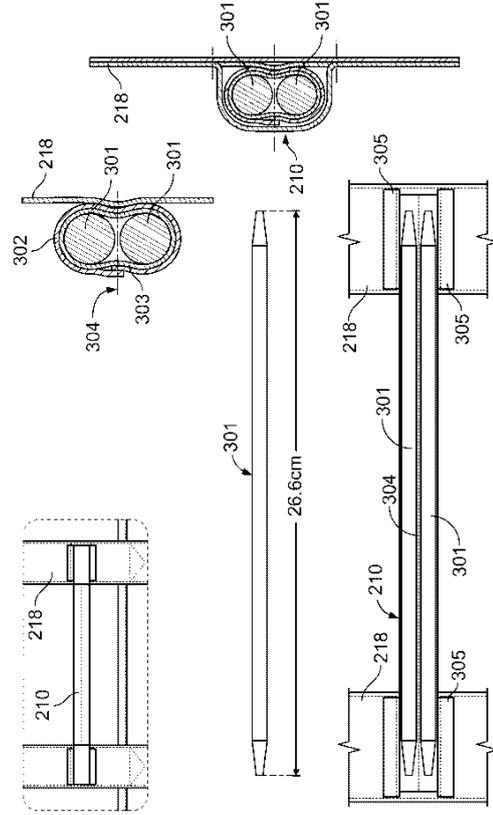
40

50

【 8 C 】



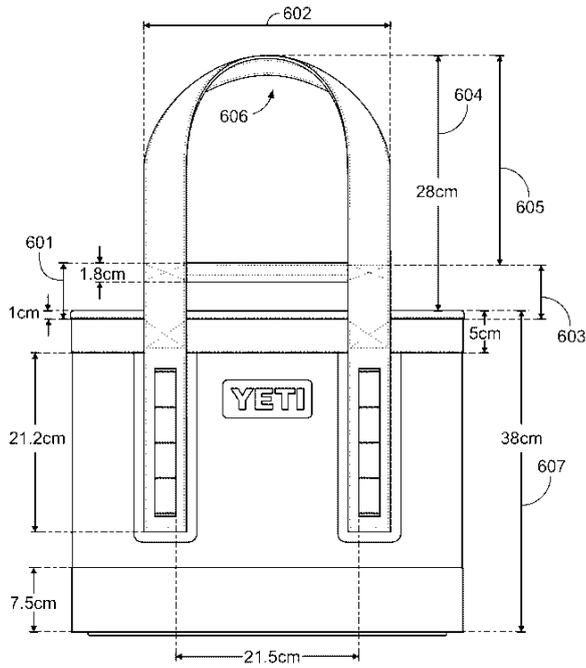
【 8 D 】



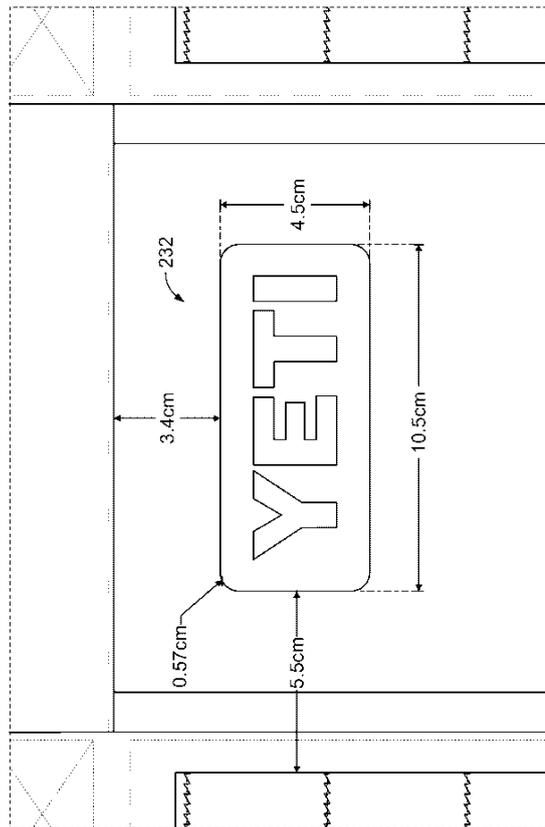
10

20

【 9 】



【 10 】

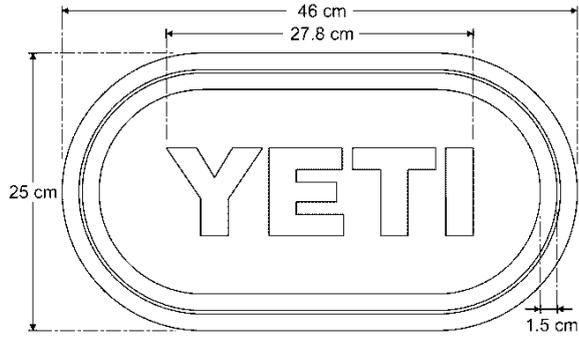


30

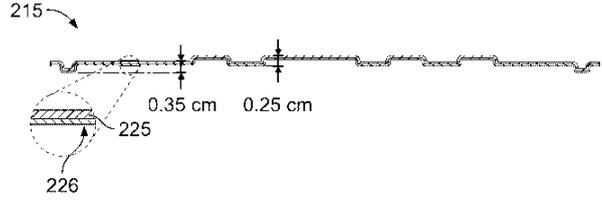
40

50

【 1 1 A 】

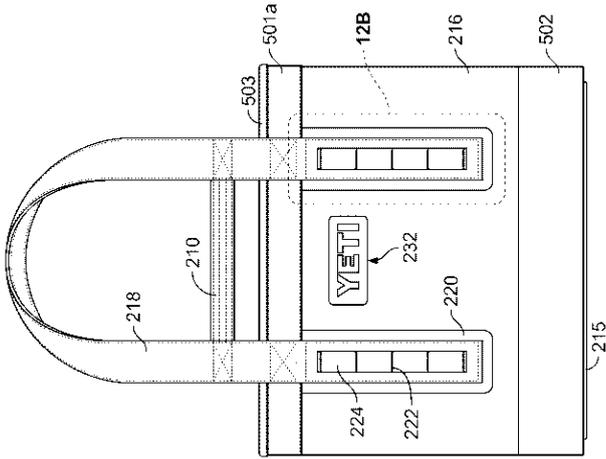


【 1 1 B 】

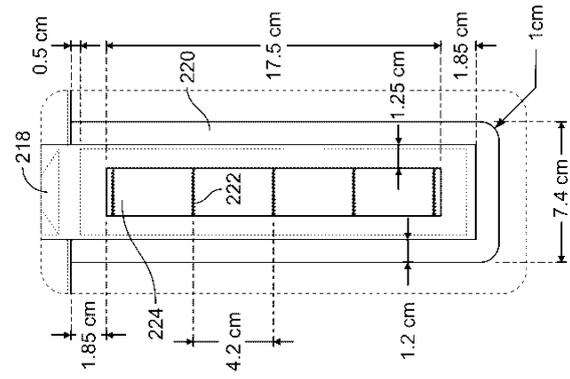


10

【 1 2 A 】



【 1 2 B 】



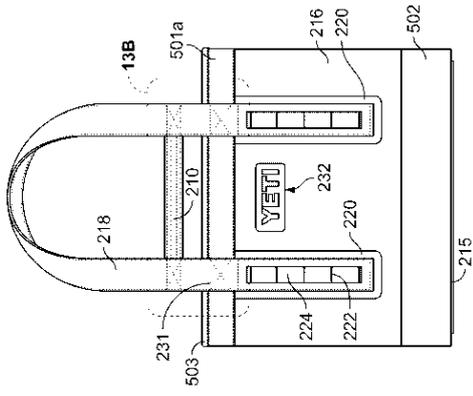
20

30

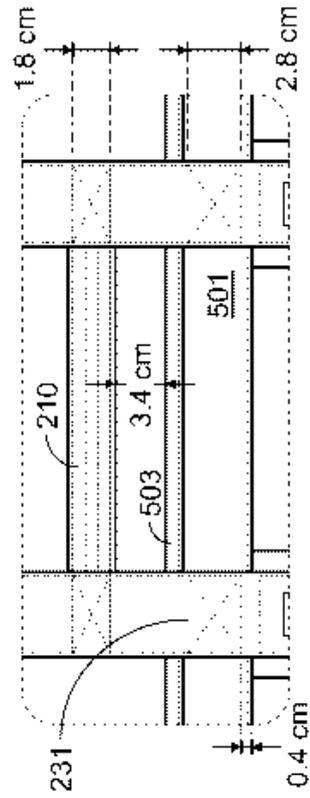
40

50

【 13 A 】



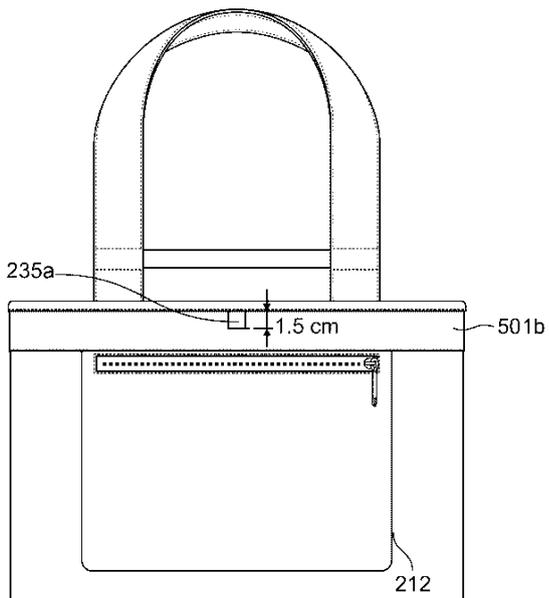
【 13 B 】



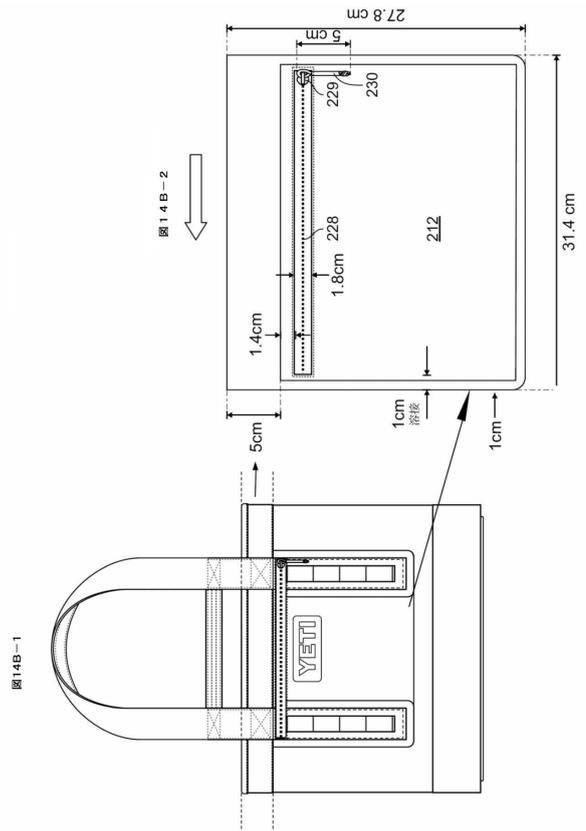
10

20

【 14 A 】



【 14 B 】

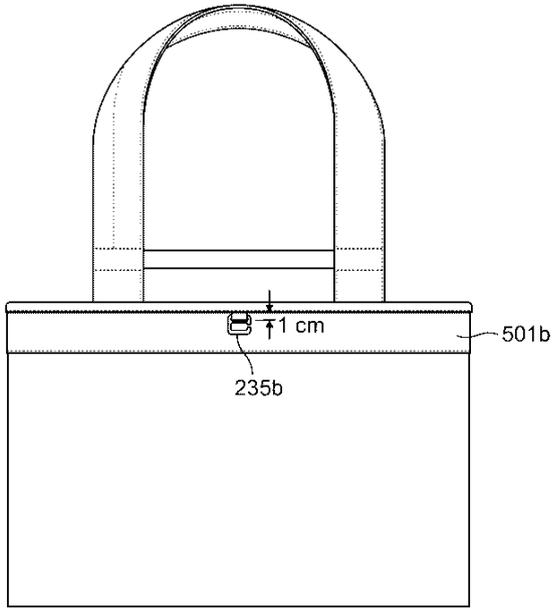


30

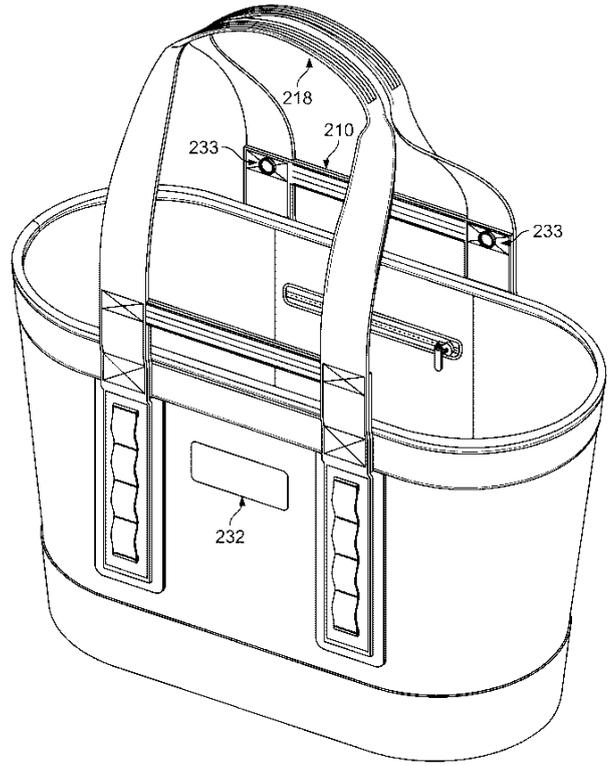
40

50

【 14 C 】



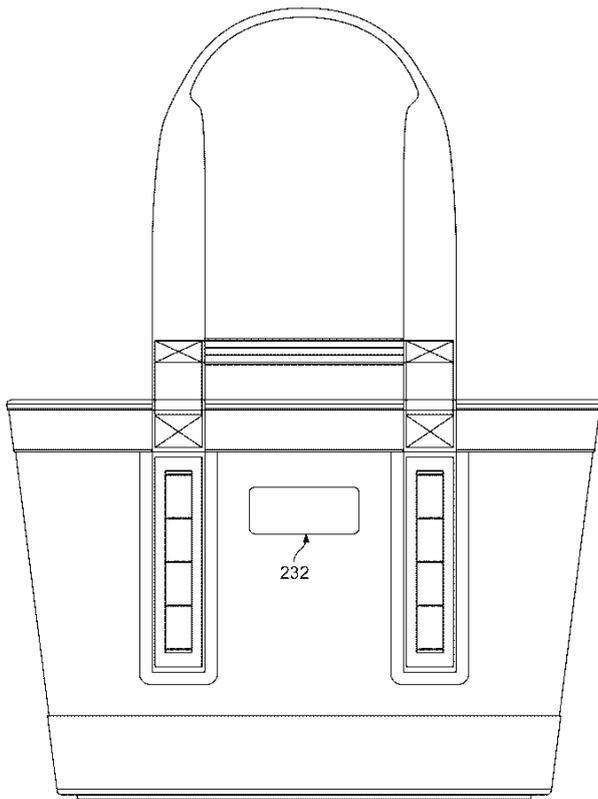
【 15 】



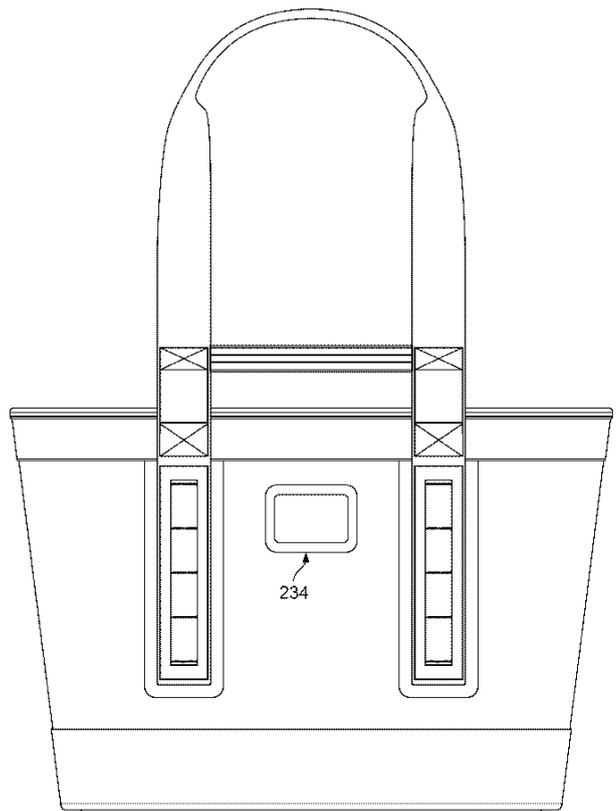
10

20

【 16 】



【 17 】

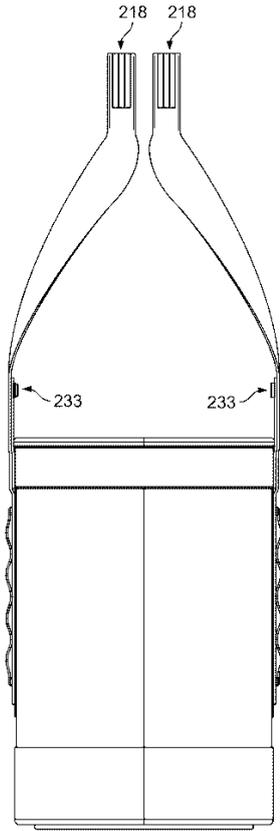


30

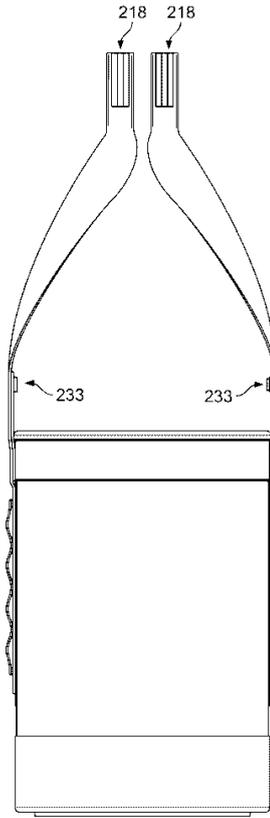
40

50

【 図 1 8 】



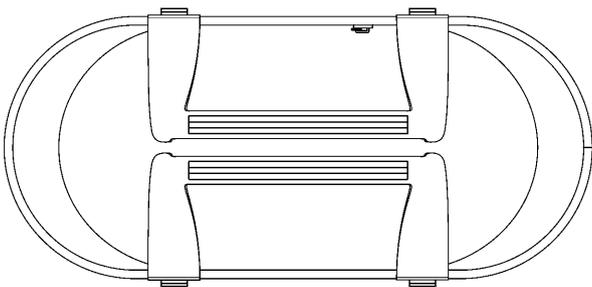
【 図 1 9 】



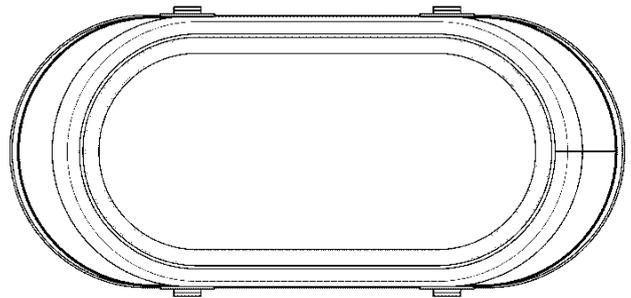
10

20

【 図 2 0 】



【 図 2 1 】

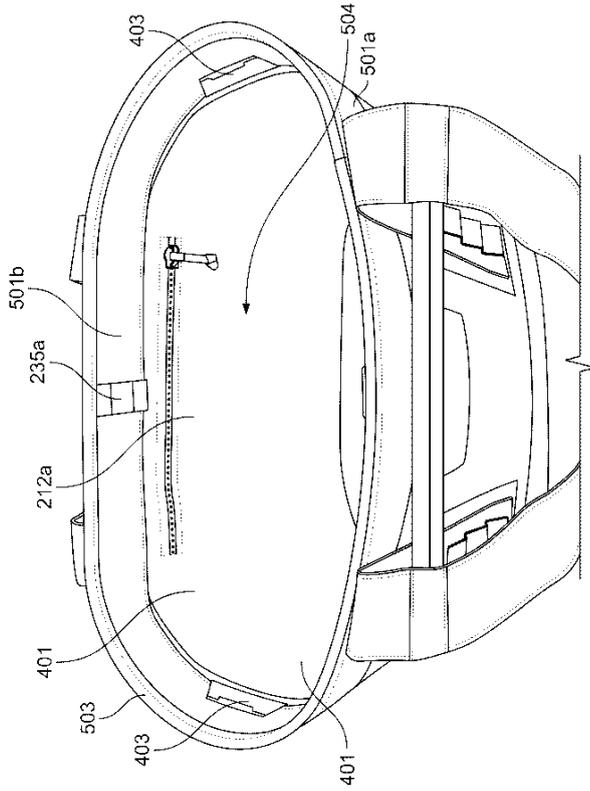


30

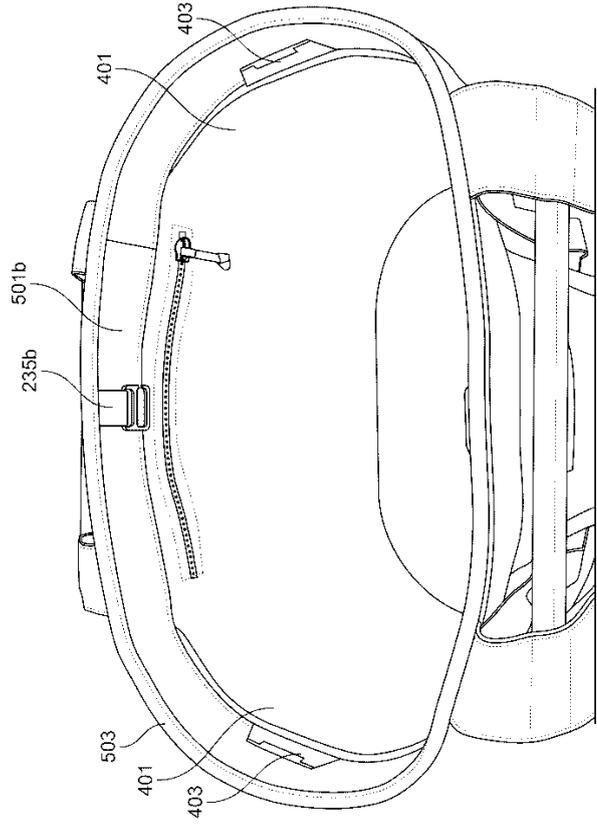
40

50

【 2 2 】



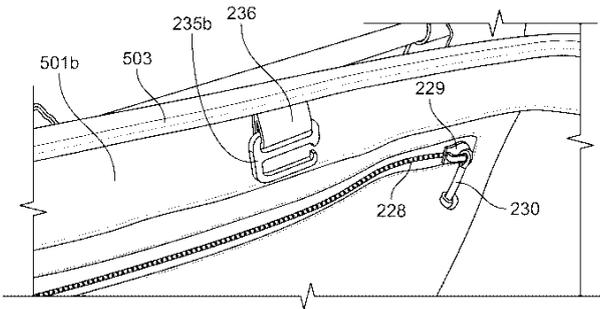
【 2 3 】



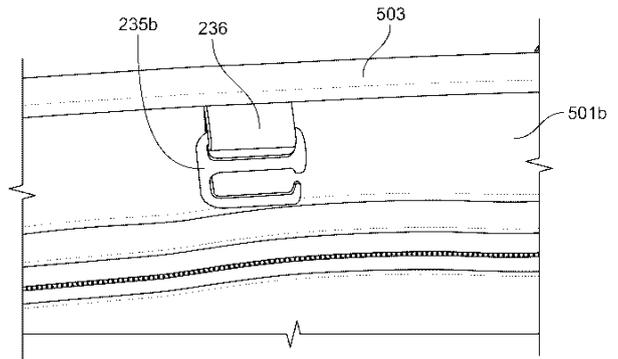
10

20

【 2 4 】



【 2 5 】

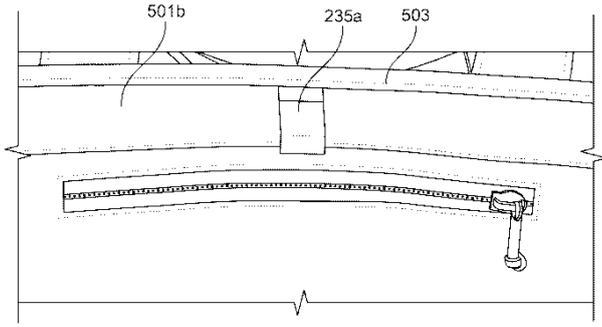


30

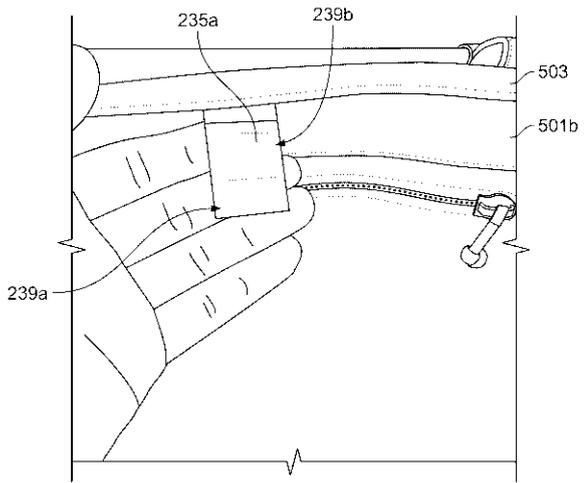
40

50

【 2 6 】

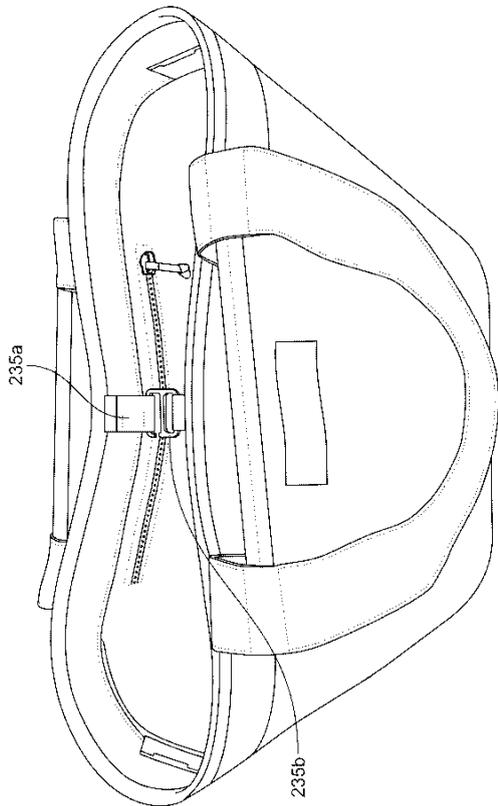


【 2 7 】

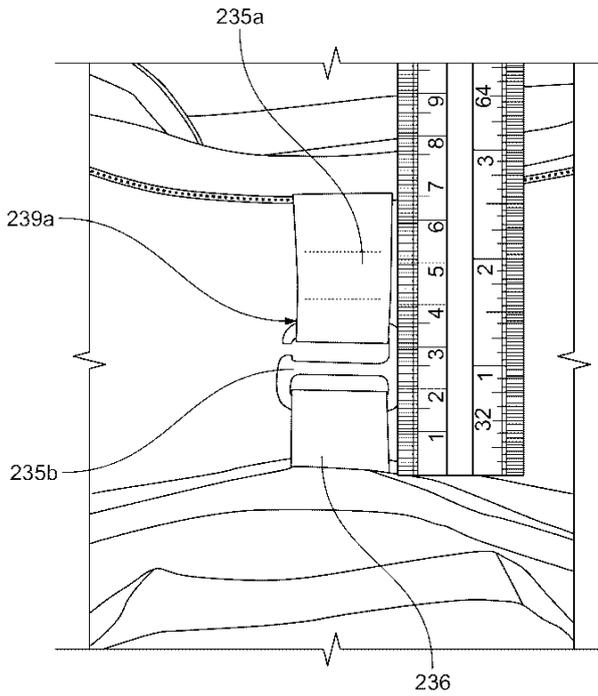


10

【 2 8 】



【 2 9 】



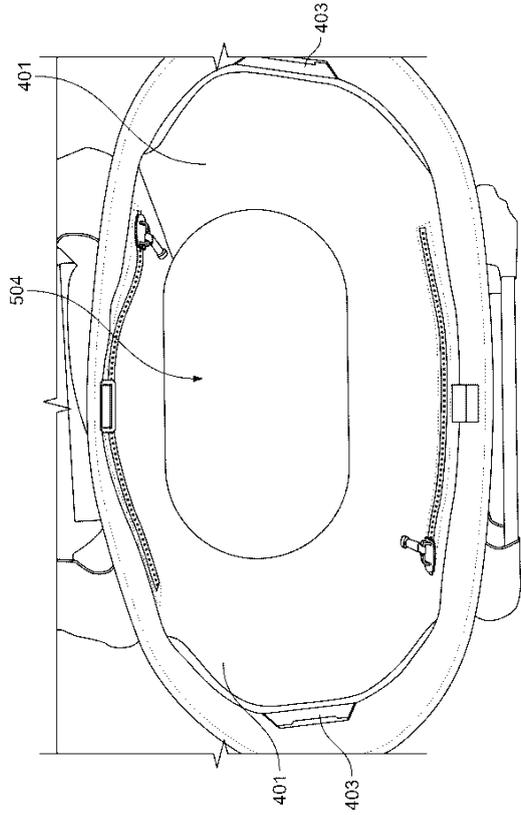
20

30

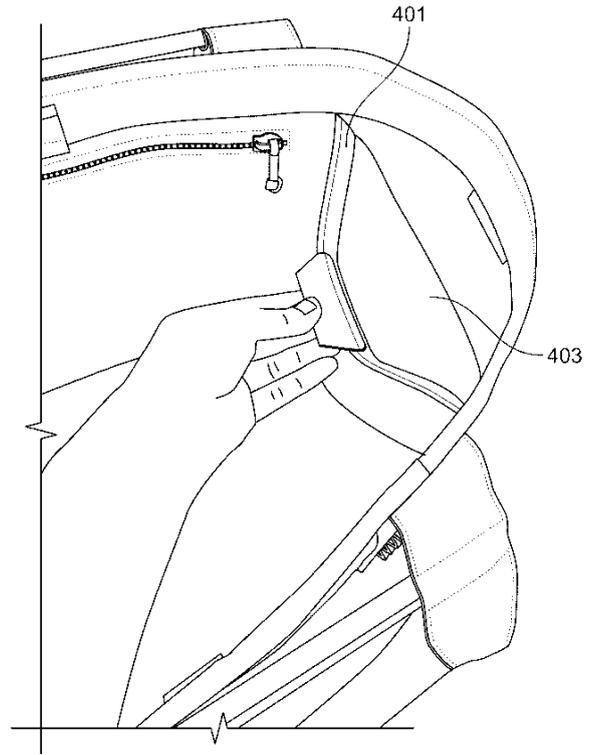
40

50

【図 3 0】



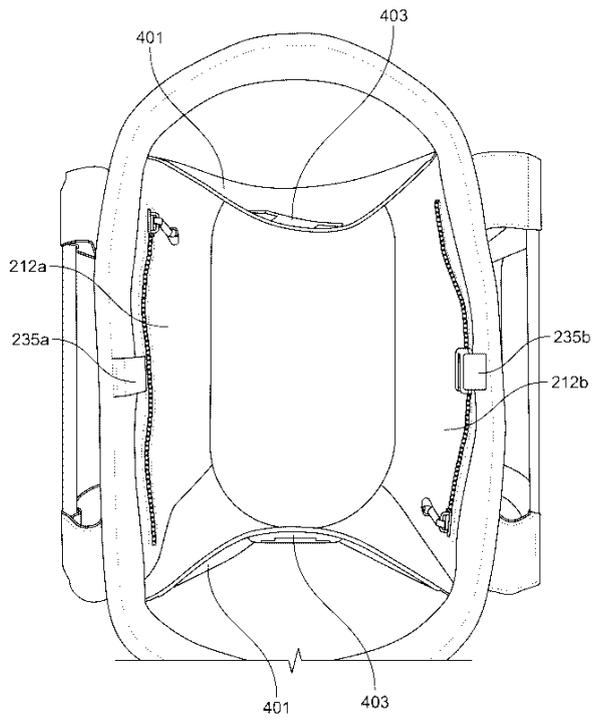
【図 3 1】



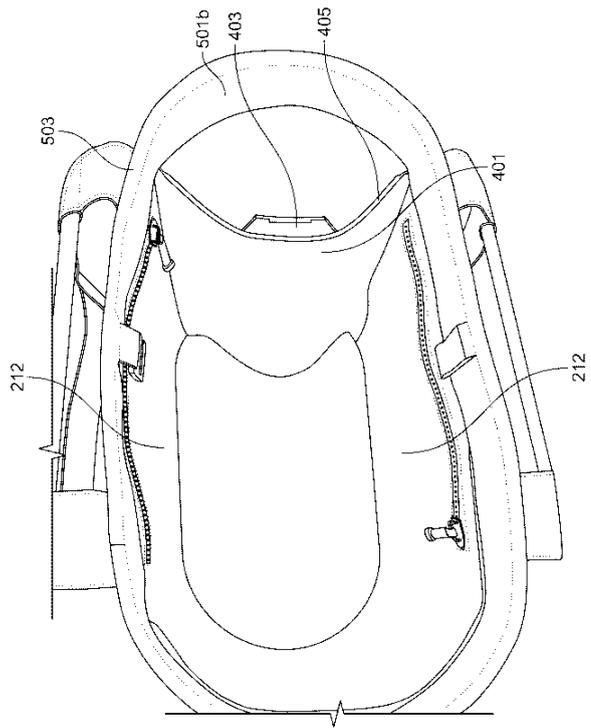
10

20

【図 3 2】



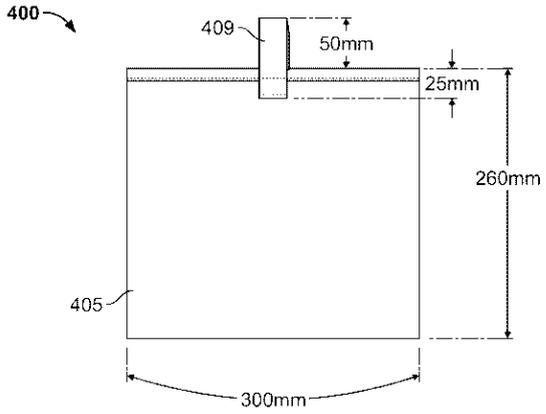
【図 3 3】



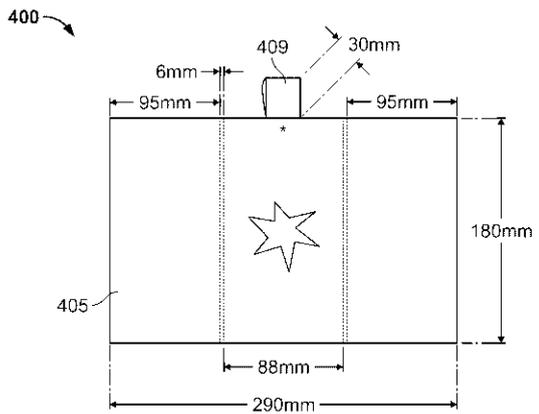
30

40

【 3 6 B 】

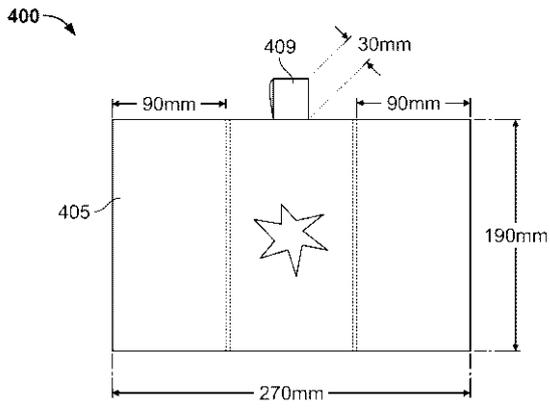


【 3 6 C 】

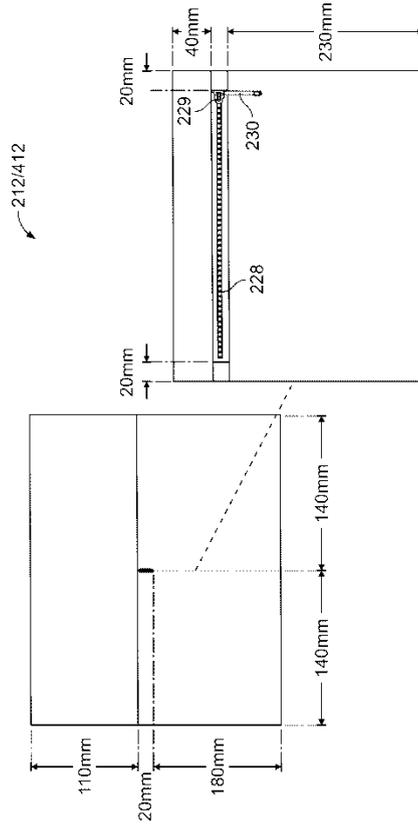


10

【 3 6 D 】



【 3 7 A 】



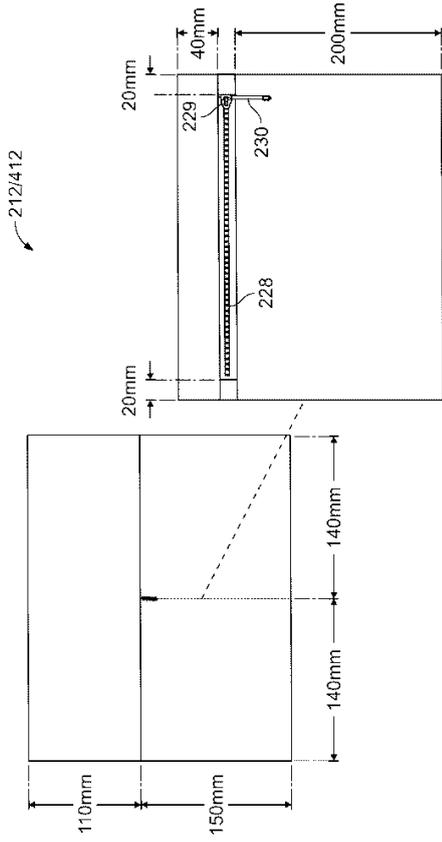
20

30

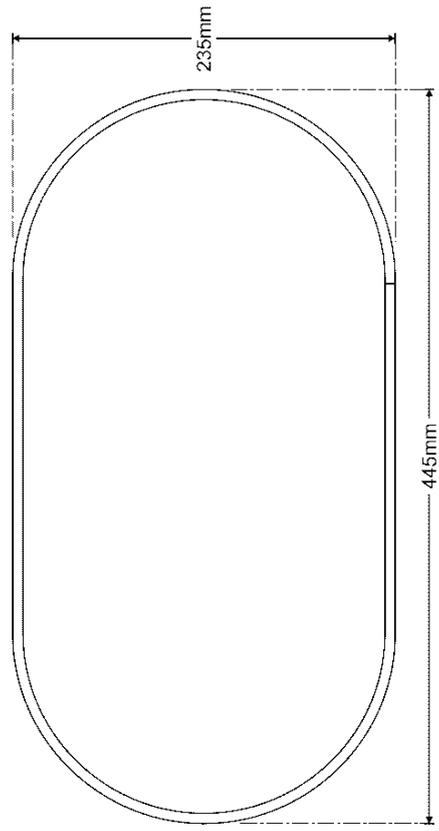
40

50

【 3 7 B 】



【 3 8 】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

エルエルシー 気付
(72)発明者 ダスティン ブロック
アメリカ合衆国 7 8 7 3 5 テキサス州 オースティン サウスウェストパークウェイ 7 6 0 1、
イエティ クーラーズ エルエルシー 気付
(72)発明者 ジョン ダブリュー . ダウ
アメリカ合衆国 7 8 7 3 5 テキサス州 オースティン サウスウェストパークウェイ 7 6 0 1、
イエティ クーラーズ エルエルシー 気付
F ターム (参考) 3B045 AA53 CA01 CA02 GB03 GC02 GD01 HA04 HB06 JA02 JB01
JC05